

2023年3月期第3四半期

# 決算説明会

---

2023年1月25日

SBテクノロジー株式会社

証券コード 4726

---

<b>1. 業績概況</b>	.....	<b>P. 2</b>
<b>2. 各事業の進捗</b>	.....	<b>P. 9</b>
<b>3. 決算添付資料</b>	.....	<b>P. 19</b>
<b>4. 会社情報</b>	.....	<b>P. 35</b>

# 業績概況

SB Technology

## 業績

公共・エンタープライズが増収を牽引

人員強化等による固定費増をまかないきれず、営業利益は減益

受注  
状況

受注高はエンタープライズ・公共で増加、Q3として過去最高

12月末受注残高も過去最高を更新

通期  
見通し

低採算案件から高付加価値な領域へのシフトを推進中、

売上高は下がるものの営業利益以下は据え置き

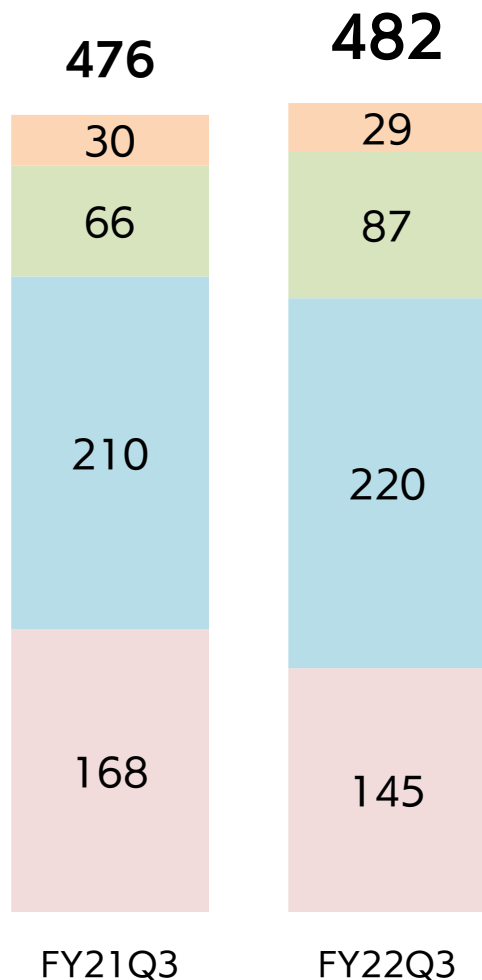
通期業績予想 売上高 670億円 営業利益 54億円 利益率改善へ

- 公共とエンタープライズ案件が増加、通信の減収を補い増収
- 売上総利益率は改善したものの、人員強化等により販管費が増加し営業利益は減益

	百万円 (利益率)	FY22Q3累計	FY21Q3累計	増減額	増減率
売上高		過去最高 48,231	47,626	+605	+1.3%
営業利益		3,541 (7.3%)	3,660 (7.7%)	▲118	▲3.2%
経常利益		3,489 (7.2%)	3,622 (7.6%)	▲133	▲3.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		2,108 (4.4%)	2,187 (4.6%)	▲79	▲3.6%
EBITDA ※		4,778	4,813	▲34	▲0.7%

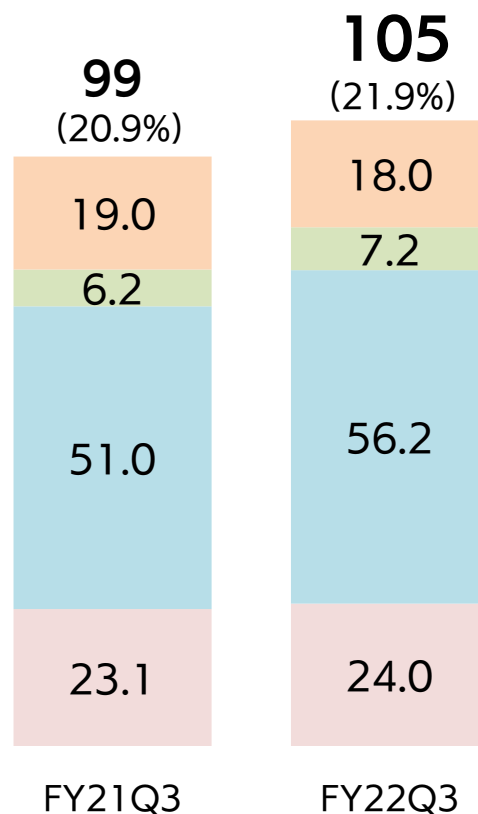
※EBITDA=営業利益+のれん償却費+減価償却費

## 売上高



## 売上総利益

億円  
(利益率)



### 個人： 減収・減益

- (株)ノートンライフロックとの契約変更の影響は期初想定より後ろ倒し

### 公共： 増収・増益

- 農林水産省向けと自治体情報SC※の運用で売上伸長
- 8月発生 of 自治体情報SC障害対応コストや、中央省庁への横展開に向けた活動費が発生したものの増益

### エンタープライズ： 増収・増益

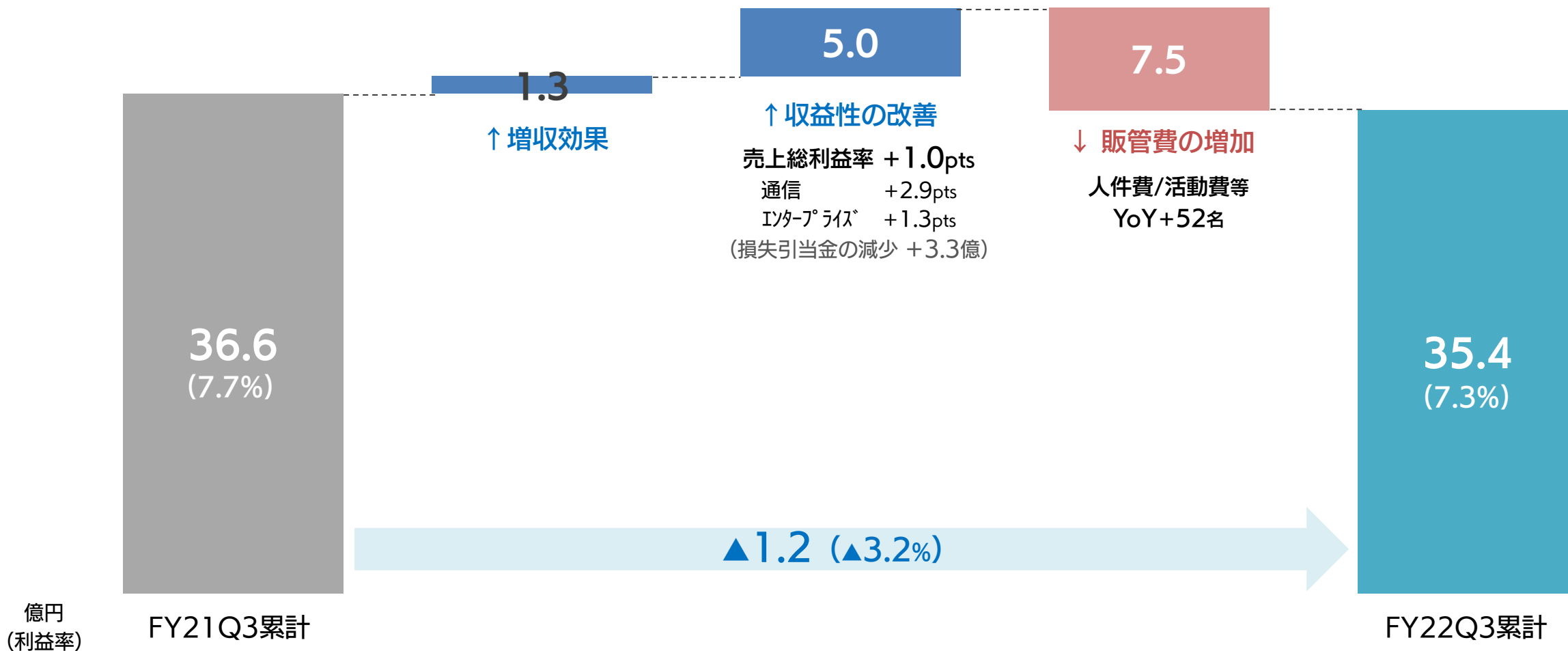
- マネージドセキュリティサービスが順調に伸長
- 製造業向けのクラウド構築が好調に推移

### 通信： 減収・増益

- ベンダーマネジメント案件から高付加価値な領域にシフトし減収も、効率化が進み利益率は改善

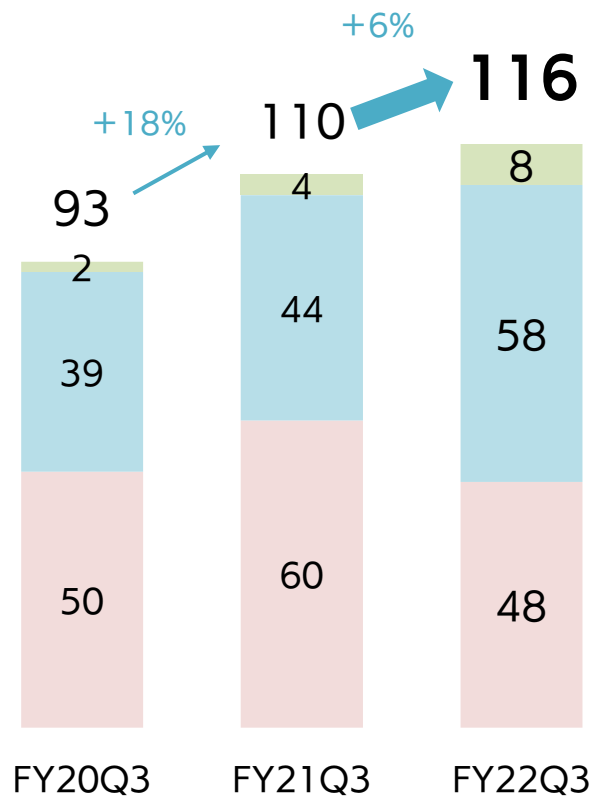
※SC：セキュリティクラウドの略

- 通信の効率化やセキュリティサービスの伸長、損失引当金の減少により売上総利益率は改善
- 人員増に伴い販管費が増加した結果、営業利益は▲1.2億円減益

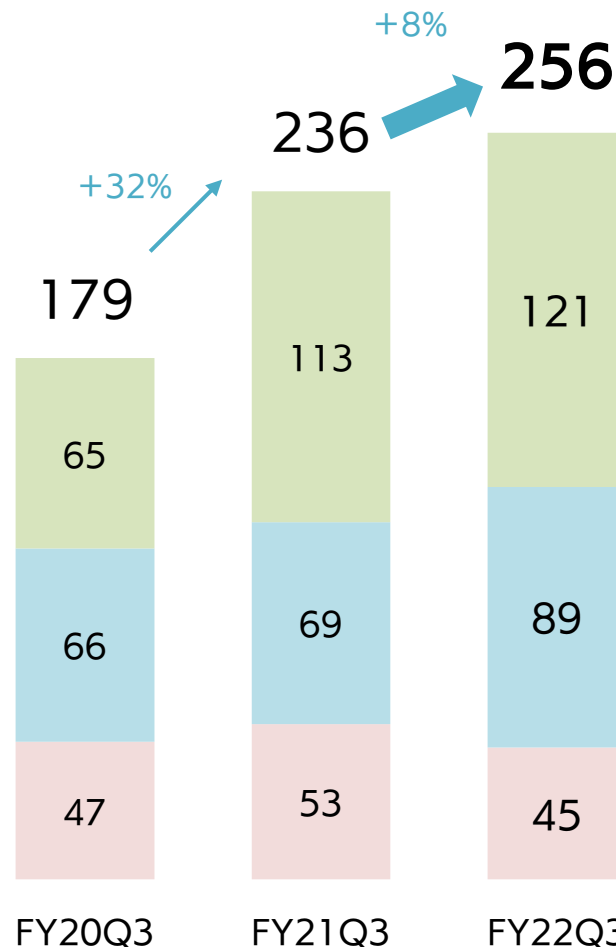


## 受注高

- 公共
- エンタープライズ
- 通信



## 受注残高



単体受注残高  
(YoY)

**20**億円増

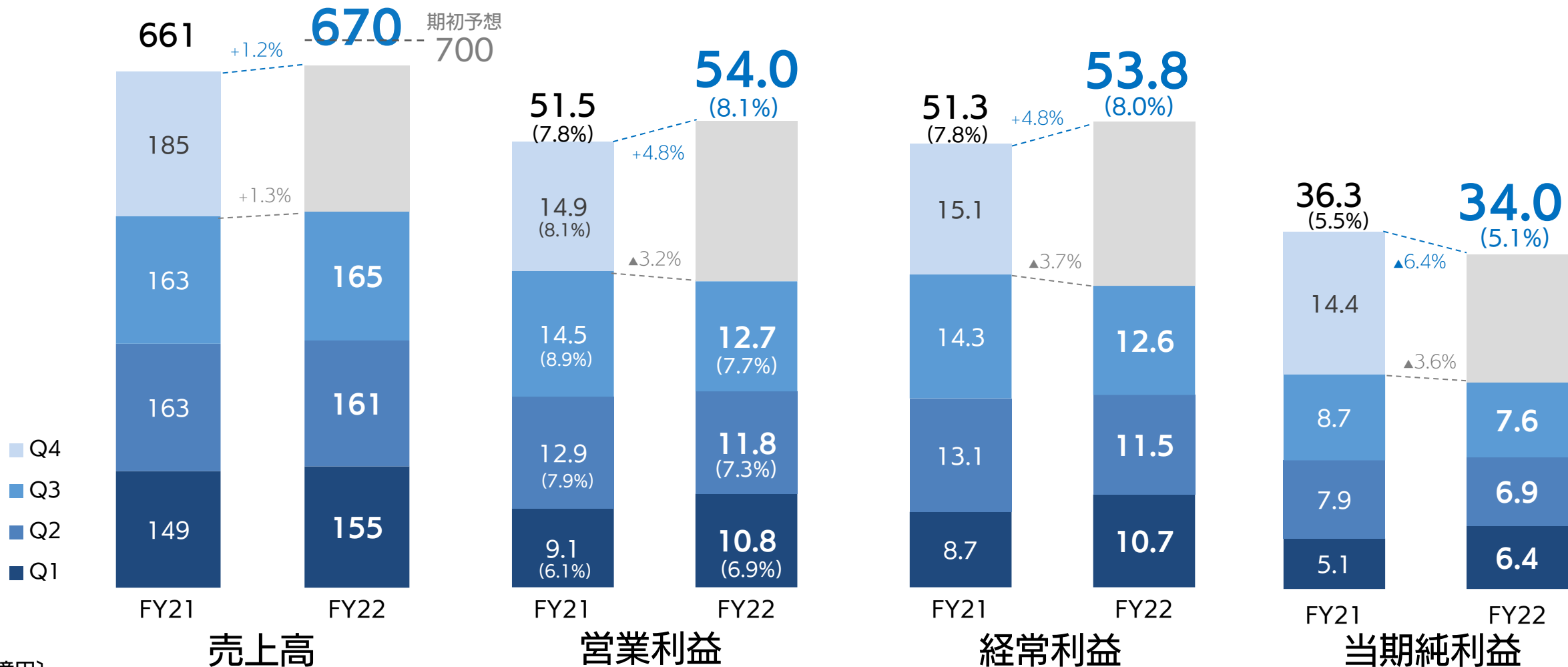
### Q3/主な受注案件

- 建設業向けクラウド開発を受注
- マネージドセキュリティサービスの受注も順調に積み上げ
- 通信向けはベンダーマネジメント案件が減少
- 受注残のうち54%が当期売上予定



## 売上高のみ 下方修正

- ・ 低採算案件から高付加価値領域へのシフトを推進中、売上高は期初計画を下回る想定
- ・ 収益性の改善や(株)ノートンライフロックとの契約変更の影響低減により、利益は据え置き



〔億円〕

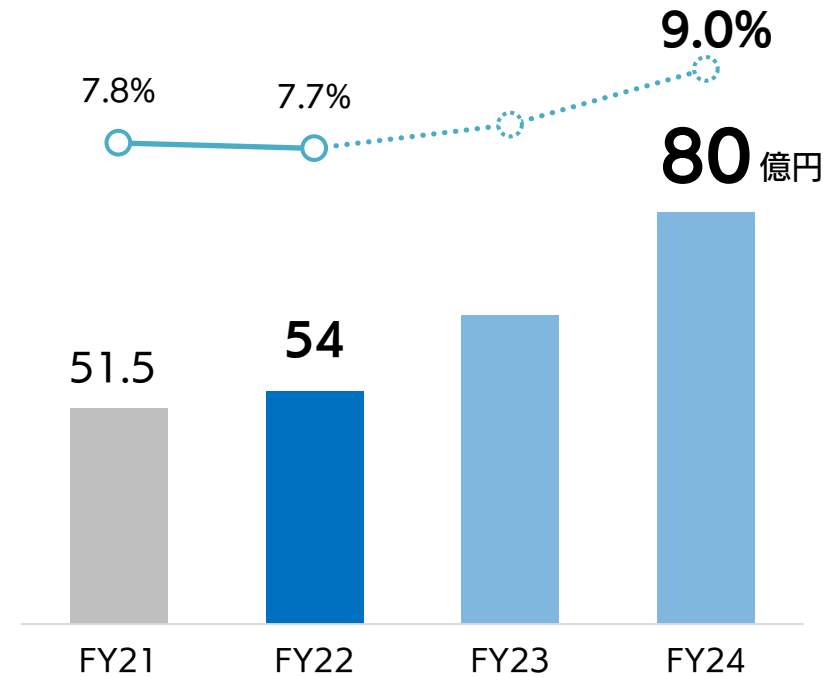
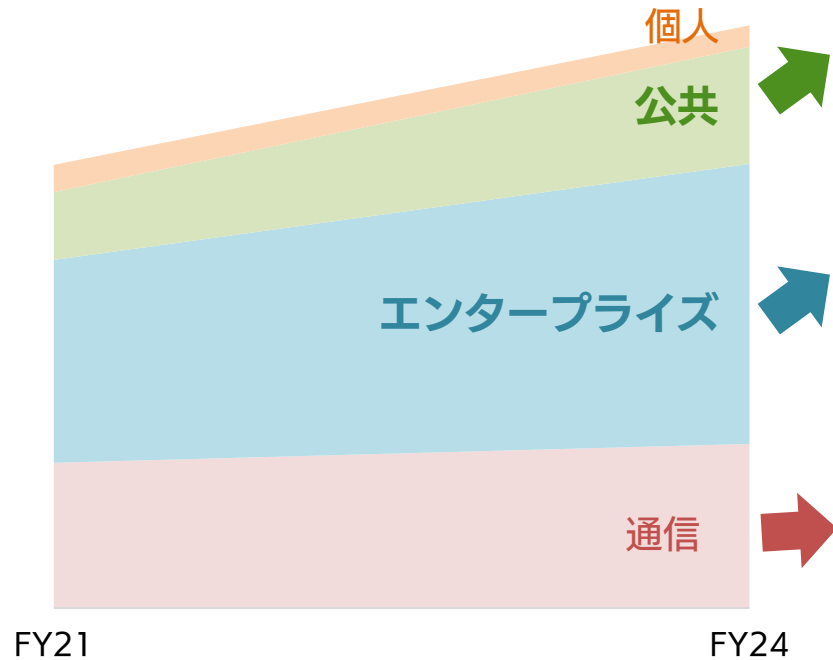
(親会社株主に帰属する当期純利益)

# 各事業の進捗

＝ SB Technology

FY24 経営指標

1. 営業利益 **80**億円
2. 営業利益率 **9%**台
3. クラウド・セキュリティ&サービス売上高 **500**億円超



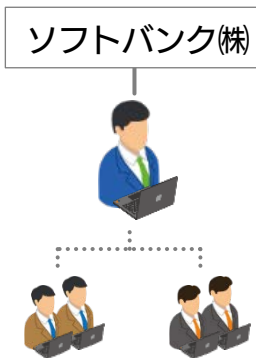
エンタープライズ・公共の伸びにより、**営業利益80億円 / 営業利益率9%台** を目指す

売上総利益率の推移



Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
FY21				FY22		

今期取り組んできたこと



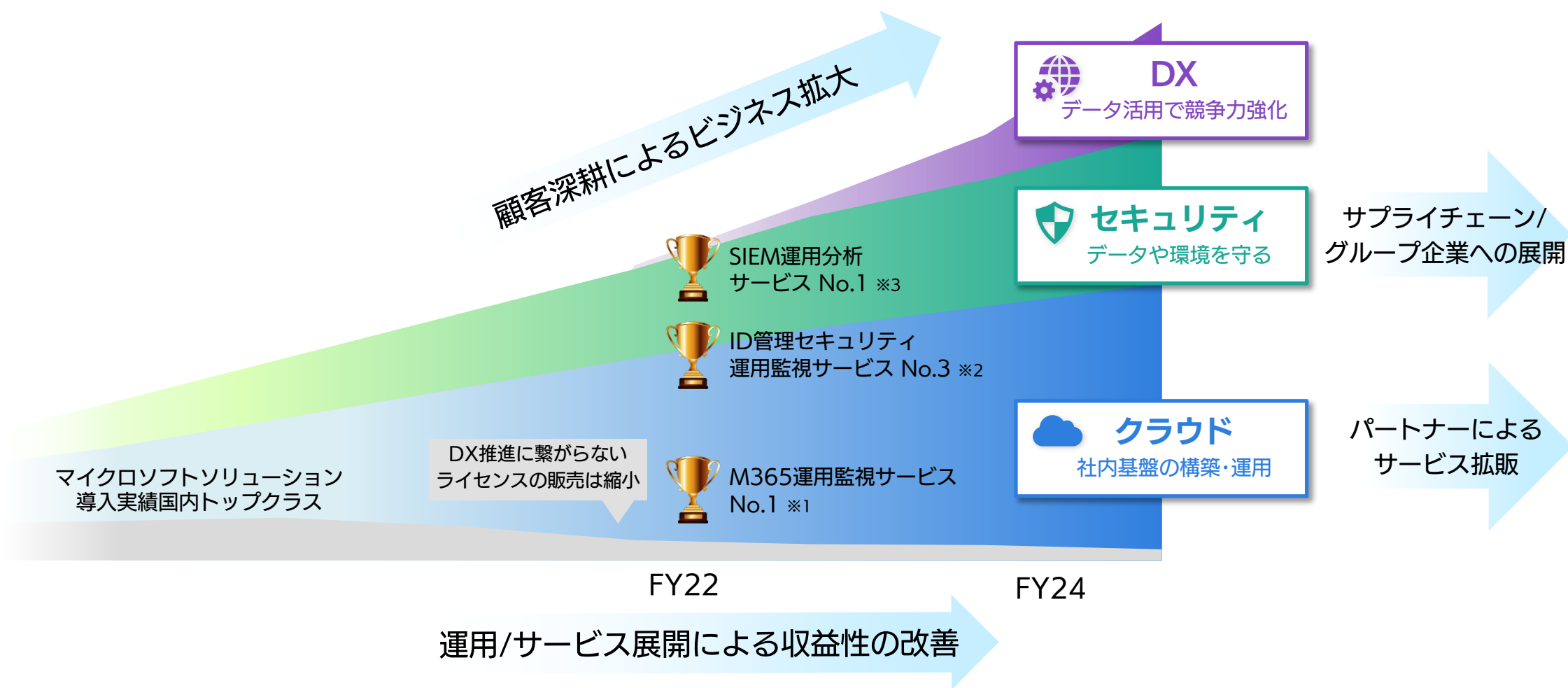
- 高付加価値案件へのシフト
- 新規領域での取引拡大
- ベンダーの再配置
- PM強化による品質向上
- コストや契約管理の適正化

FY23以降に向けて



- オフショアの活用
- 人材採用・教育の強化
- テスト工程の体制強化

品質改善、高付加価値案件へのシフトなどの取り組みにより利益率は引き続き改善



## クラウド・セキュリティサービスで顧客の事業基盤を支え、DX化を推進

※1： Microsoft365運用監視サービス市場、※2： ID管理セキュリティ運用監視サービス市場、※3： SIEM運用分析サービス/マネージドXDRサービス市場  
 ※1、※2、※3の出典：ITR「ITR MarketView：エンドポイント・セキュリティ対策型/情報漏洩対策型SOCサービス市場2022」ベンダー別売上金額シェア（2021年度）

[人財] コンサルティング、IT教育

[インフラ] セキュアなクラウド基盤

[戦略] データ活用

**クラウド**  
社内基盤の構築・運用

**セキュリティ**  
データや環境を守る

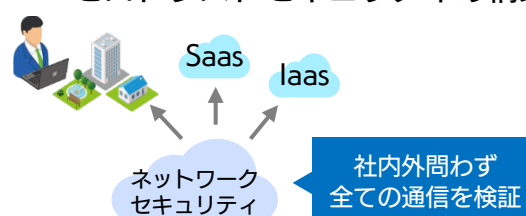
**DX**  
データ活用で競争力強化

導入

マイクロソフトソリューション  
導入実績国内トップクラス



ゼロトラストセキュリティの構築



セキュアな基盤でデータ活用



DX自動化  
ノーコード/ローコード

データ活用・分析  
BIツール

運用

M365 運用監視サービス No.1※1



運用業務・  
ヘルプデスク等

SIEM 運用分析サービス No.1 ※2  
ID 管理セキュリティ 運用監視サービス No.3 ※3

グローバル  
監視センター



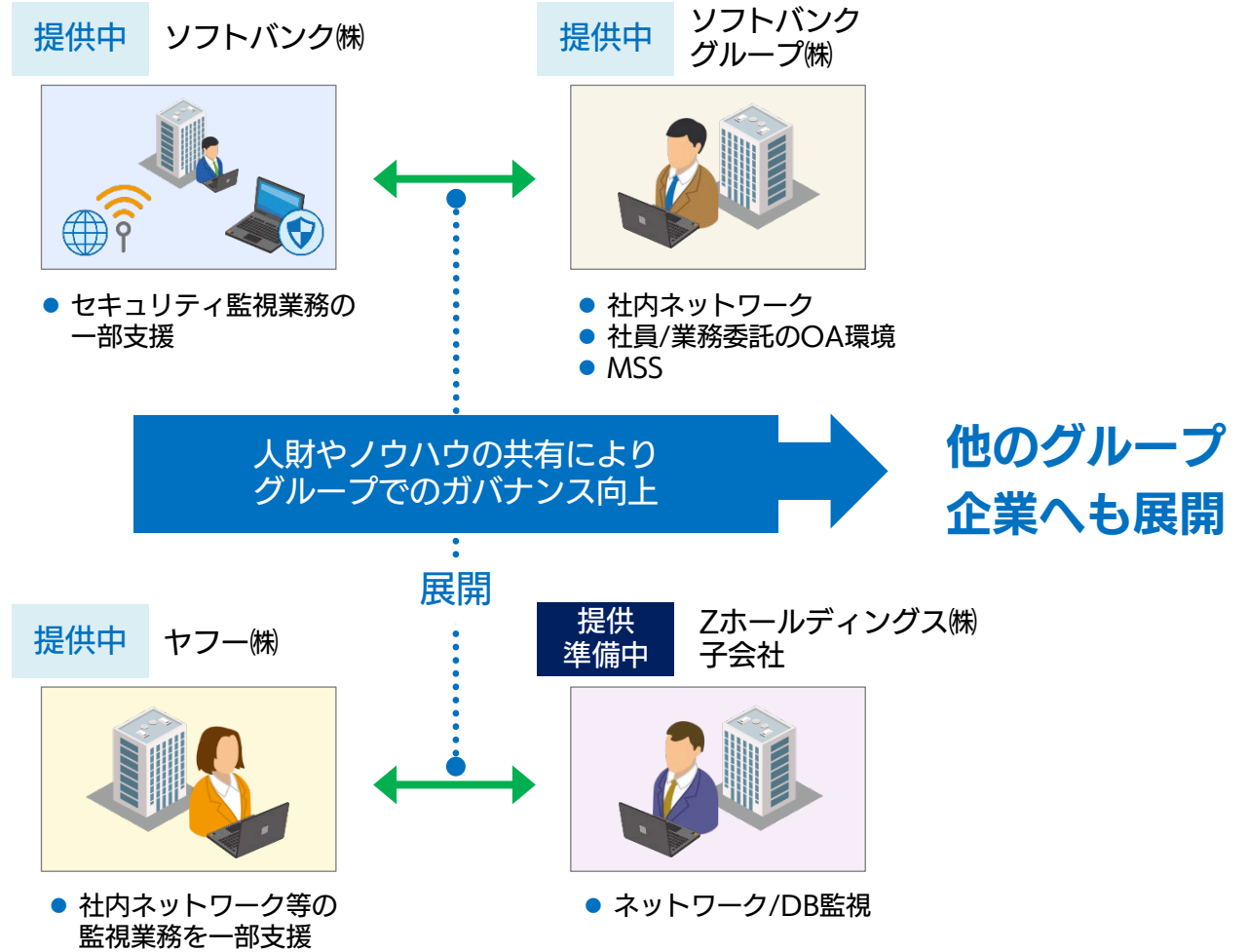
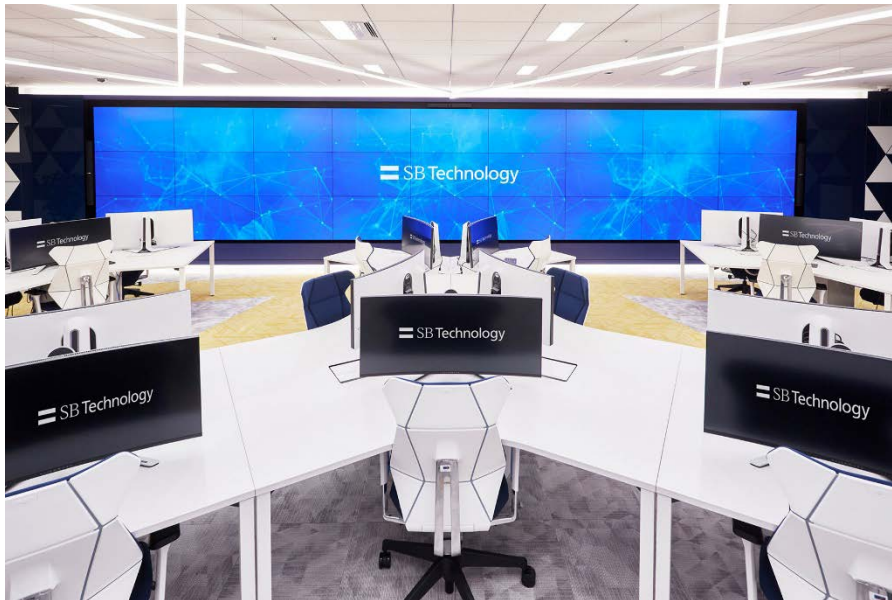
暗号化されたデータベース  
プライバシーテック

## クラウド・セキュリティサービスで顧客の事業基盤を支え、DX化を推進

※1： Microsoft365運用監視サービス市場、※2： SIEM運用分析サービス/マネージドXDRサービス市場、※3： ID管理セキュリティ運用監視サービス市場  
※1、※2、※3の出典：ITR「ITR MarketView：エンドポイント・セキュリティ対策型/情報漏洩対策型SOCサービス市場2022」ベンダー別売上金額シェア（2021年度）

## SBT セキュリティ監視センター

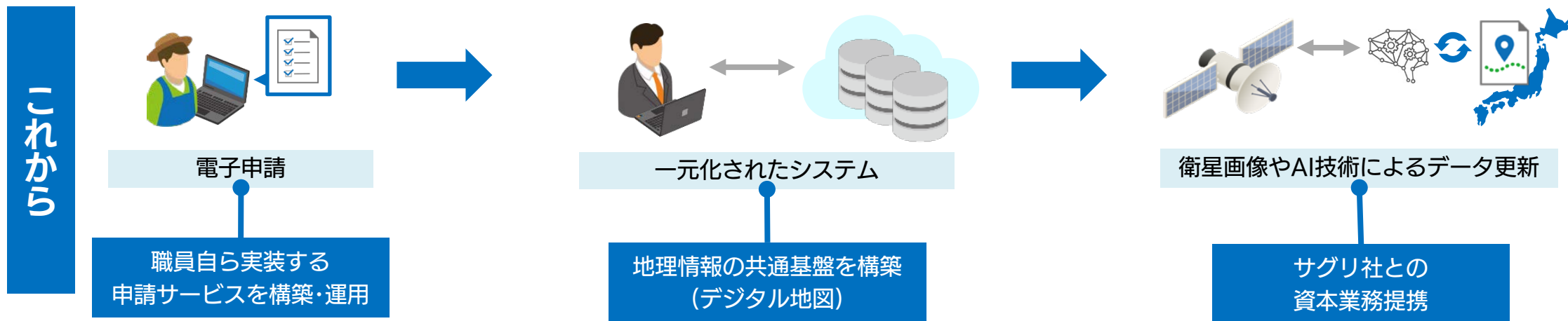
M365運用監視サービス No.1※1  
SIEM運用分析サービス No.1※2



## SBグループ企業に対してもセキュリティビジネス拡大の機会あり

※1 : Microsoft 365運用監視サービス市場、※2 : SIEM運用分析サービス/マネージドXDRサービス市場

※1、※2の出典 : ITR 「ITR MarketView : エンドポイント・セキュリティ対策型/情報漏洩対策型SOCサービス市場2022」ベンダー別売上金額シェア (2021年度)



## 当社の強みや知見が活きる地図領域のビジネスの展開を目指す



FY22

FY23

## 次期自治体SC※1

12県(405市町村)受注

5年間のノウハウ+新しい総務省の要件を満たすサービス  
サービス提供型のためエリアを問わず複数県に対応可能

**自治体情報セキュリティクラウド**

各自治体のメリット

- ✓ 個別構築よりも安価
- ✓ 機能は継続的に改良される
- ✓ 定期的なシステム入替が不要

自治体の業務効率化に向けた  
サービス提供

オプションサービスの提供  
EDR※2監視・運用、リモートデスクトップ等



FY22受注  
2県

~'23年3月 構築  
'23年4月~ サービス提供

構築 → '22年4月~  
サービス提供中

FY21受注  
10県

うち  
山形県 ~'22年12月 構築  
'23年1月~ サービス提供

安定的なサービス提供に加え、業務の利便性や効率化も支援

※1：セキュリティクラウドの略  
※2：端末などのエンドポイントのセキュリティ（Endpoint Detection and Responseの略）

1. 営業利益 80億円

2. 営業利益率 9%台

3. クラウド・セキュリティ&サービス  
売上高 500億円超

**情報革命で人々を幸せに**

**～ 技術の力で、未来をつくる ～**

**＝ SB Technology**

# 決算添付資料

＝ SB Technology

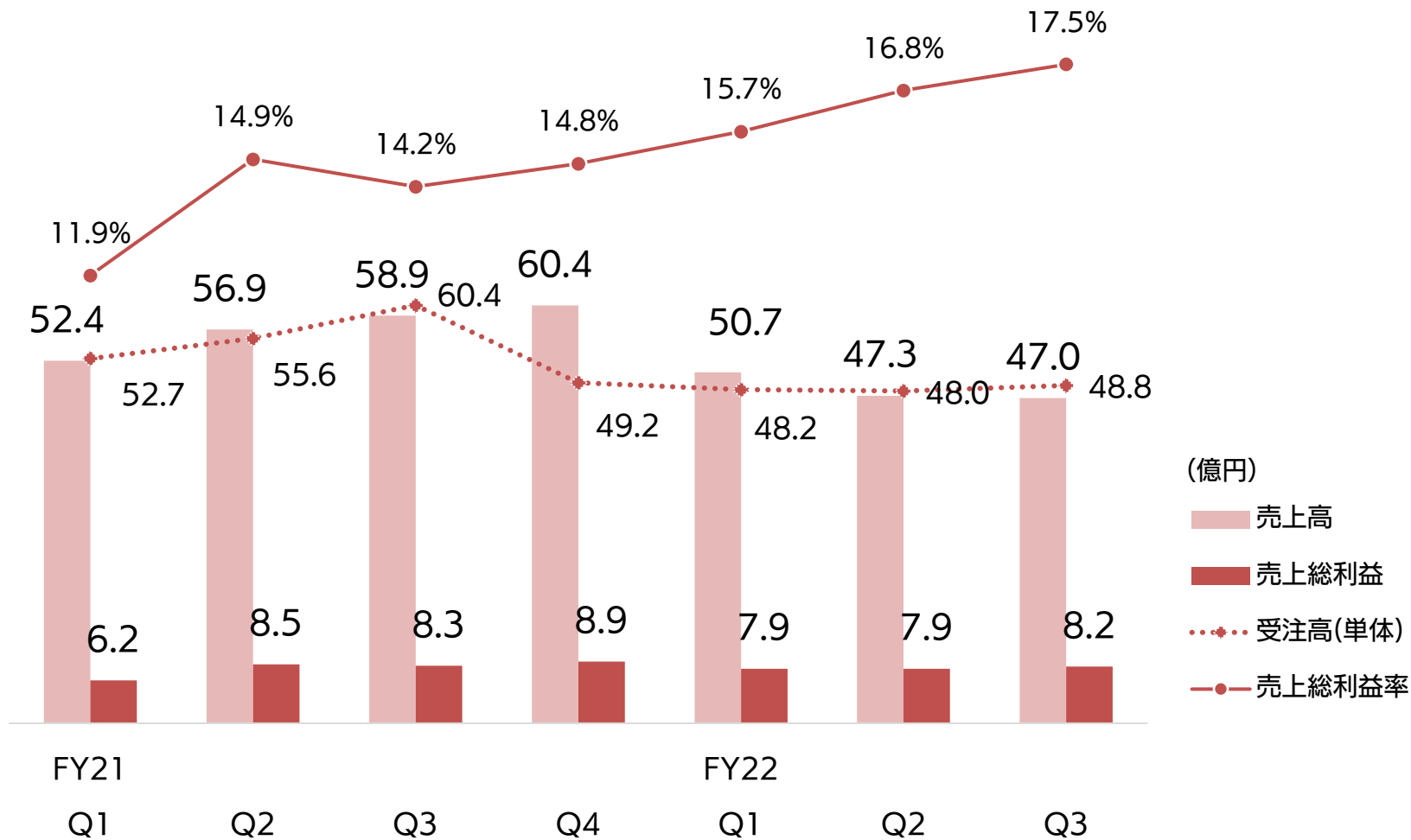
- 公共とエンタープライズのクラウド・セキュリティ案件が増加、通信の減収を補い増収
- 人件費等の販管費増加を賄いきれず、営業利益は減益

	百万円 (利益率)	FY22Q3	FY21Q3	増減額	増減率
売上高		16,524	16,309	+215	+1.3%
営業利益		1,271 (7.7%)	1,454 (8.9%)	▲183	▲12.6%
経常利益		1,266 (7.7%)	1,433 (8.8%)	▲166	▲11.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		762 (4.6%)	871 (5.3%)	▲109	▲12.6%
EBITDA ※		1,685	1,861	▲176	▲9.5%

※EBITDA=営業利益+のれん償却費+減価償却費

今期より、事業ポートフォリオの変革の様子や  
当社業績と外部環境・他社との比較がわかりやすくなるよう以下のとおり変更いたしました

FY22以降	<p style="text-align: center;"><b>マーケット区分</b></p> <p style="text-align: center;">通信 エンタープライズ 公共 個人</p>	<p style="text-align: center;"><b>ソリューション区分</b></p> <p style="text-align: center;">クラウドソリューション セキュリティソリューション テクニカルソリューション 機器・ライセンス</p>	<p style="text-align: center;"><b>利益指標</b></p> <p style="text-align: center;">売上総利益</p>
FY21まで	<p style="text-align: center;">SBグループ 法人/公共 個人</p>	<p style="text-align: center;">ビジネスITソリューション コーポレートITソリューション テクニカルソリューション ECソリューション</p>	<p style="text-align: center;">限界利益</p>



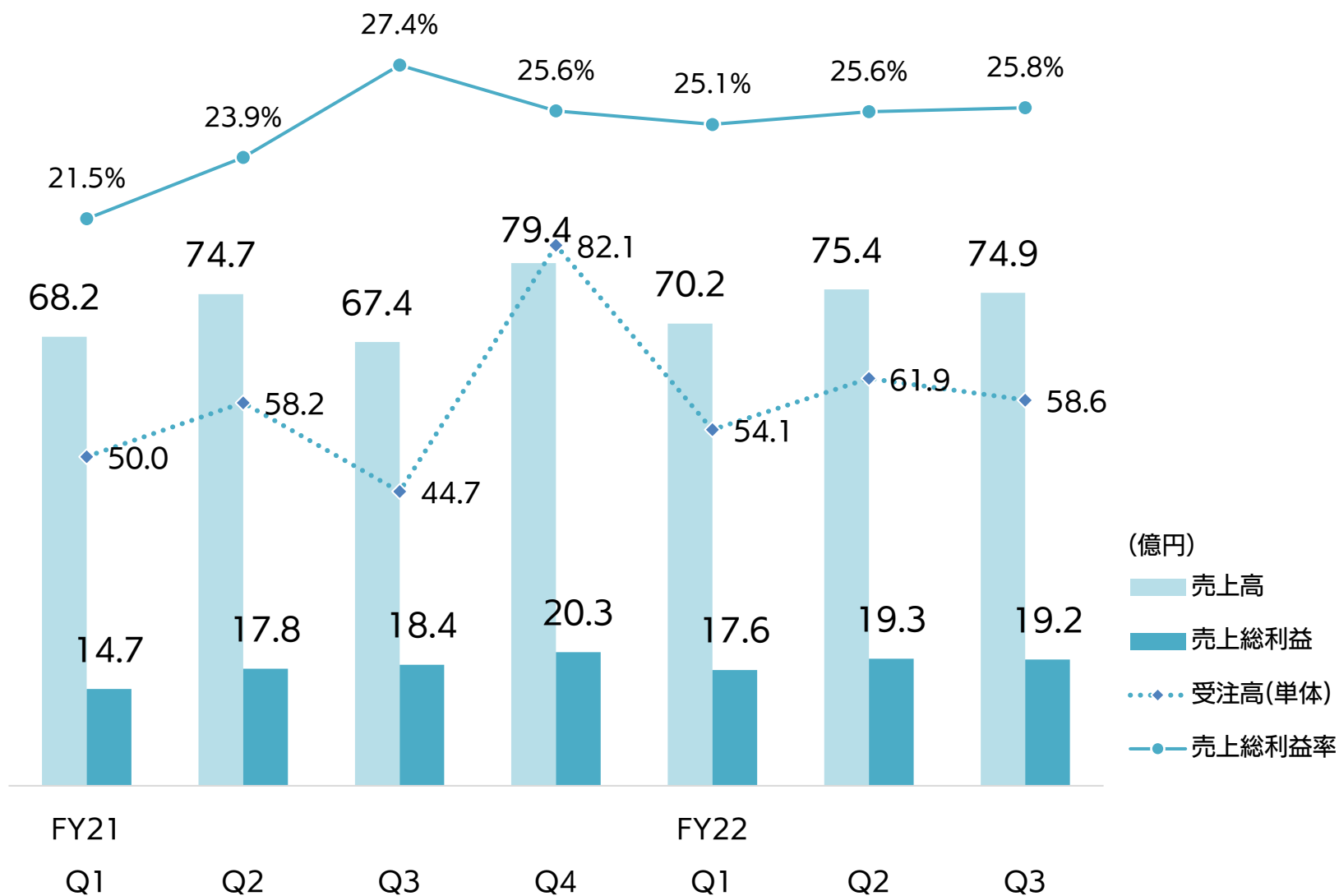
通信 (前年同期比)

受注高 (単体)

- ベンダーマネジメント案件の戦略的絞り込みや、前期の大型案件剥落により減少

売上高/売上総利益

- ベンダーマネジメント案件から高付加価値領域へシフト
- 効率化が進み利益率が向上



### エンタープライズ (前年同期比)

#### 受注高 (単体)

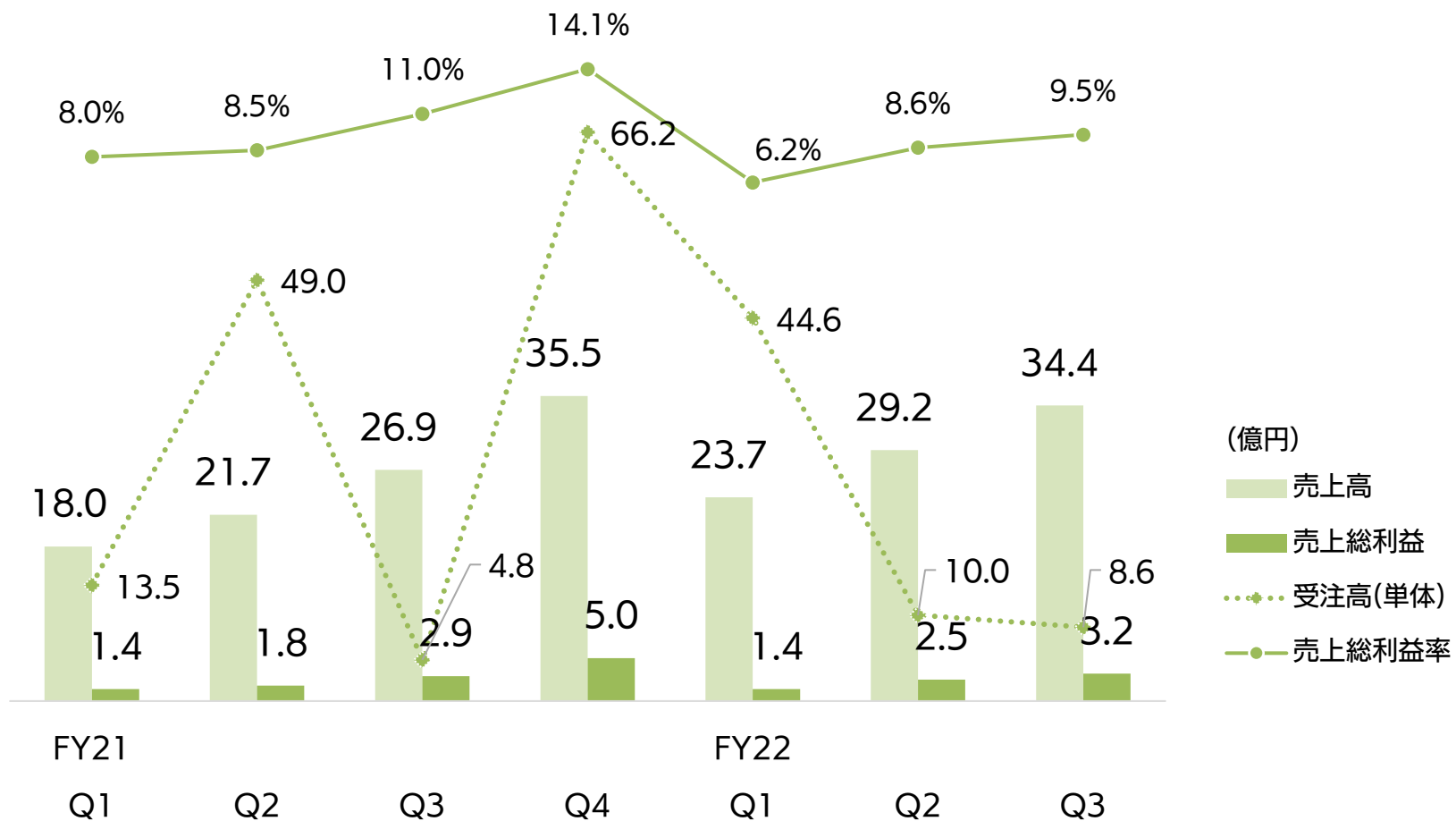
- 自社サービスMSS※やクラウド開発・運用保守案件が増加

#### 売上高/売上総利益

- MSSは前年同期比1.6倍に売上伸長
- クラウド運用が順調に推移

※ マネージドセキュリティサービスの略





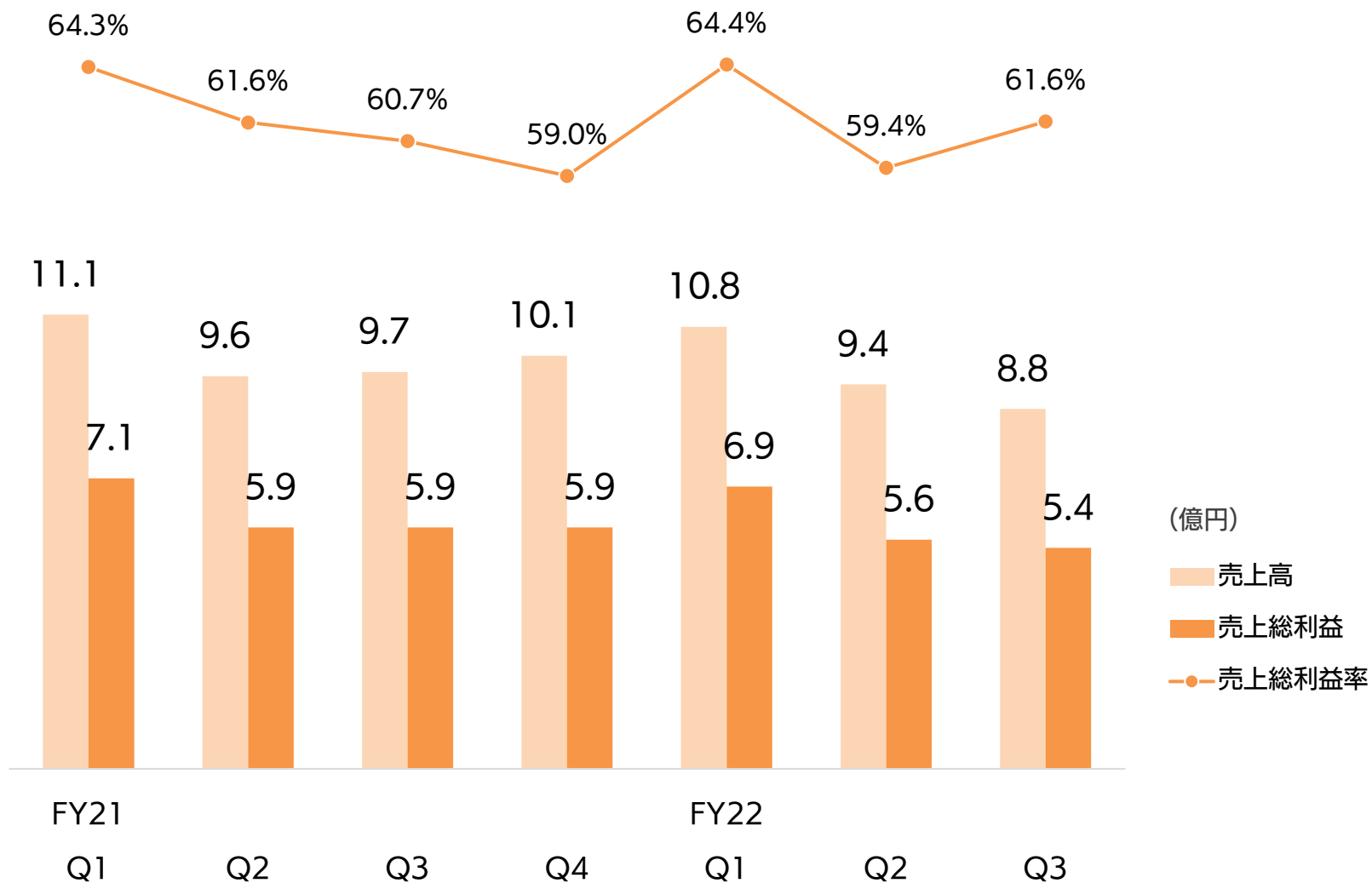
**公共（前年同期比）**

**受注高（単体）**

- 農林水産省の地図情報関連案件の受注により増加

**売上高/売上総利益**

- 農林水産省向け案件や自治体情報SC運用により売上伸長
- 中央省庁への横展開に向けた案件獲得コストが発生したものの増益



個人 (前年同期比)

売上高/売上総利益

- (株)ノートンライフロックとの契約変更影響は計画よりも後ろ倒しとなっているが、QoQで減収・減益

		(百万円)	FY21Q1	FY21Q2	FY21Q3	FY21Q4	FY21	FY22Q1	FY22Q2	FY22Q3	前年同期比	
											増減額	増減率
連結業績	売上高	14,994	16,322	16,309	18,557	66,183	15,560	16,145	16,524	+215	+1.3%	
	売上総利益	2,954	3,416	3,571	4,030	13,974	3,405	3,538	3,625	+53	+1.5%	
	利益率	19.7%	20.9%	21.9%	21.7%	21.1%	21.9%	21.9%	21.9%	+0.0pt	-	
通信	売上高	5,241	5,699	5,898	6,048	22,888	5,079	4,731	4,701	▲1,197	▲20.3%	
	売上総利益	621	851	838	896	3,208	796	793	820	▲17	▲2.1%	
	利益率	11.9%	14.9%	14.2%	14.8%	14.0%	15.7%	16.8%	17.5%	+3.3pt	-	
エンタープライズ	売上高	6,826	7,478	6,742	7,945	28,993	7,021	7,540	7,493	+751	+11.1%	
	売上総利益	1,470	1,784	1,845	2,036	7,137	1,763	1,930	1,929	+84	+4.6%	
	利益率	21.5%	23.9%	27.4%	25.6%	24.6%	25.1%	25.6%	25.8%	▲1.6pt	-	
公共	売上高	1,809	2,176	2,692	3,552	10,230	2,374	2,927	3,442	+750	+27.9%	
	売上総利益	144	184	296	501	1,126	147	252	328	+32	+11.0%	
	利益率	8.0%	8.5%	11.0%	14.1%	11.0%	6.2%	8.6%	9.5%	▲1.5pt	-	
個人	売上高	1,116	967	975	1,010	4,070	1,084	946	886	▲88	▲9.1%	
	売上総利益	718	596	591	595	2,502	698	561	546	▲45	▲7.7%	
	利益率	64.3%	61.6%	60.7%	59.0%	61.5%	64.4%	59.4%	61.6%	+0.9pt	-	

※一部のプロジェクトに関してセグメント区分の見直しを行い、現在の計上方法に則して算出しております。

連結業績 (百万円)	FY21Q1	FY21Q2	FY21Q3	FY21Q4	FY21	FY22Q1	FY22Q2	FY22Q3	前年同期比	
									増減額	増減率
売上高	14,994	16,322	16,309	18,557	66,183	15,560	16,145	16,524	+215	+1.3%
通信	5,241	5,699	5,898	6,048	22,888	5,079	4,731	4,701	▲1,197	▲20.3%
エンタープライズ	6,826	7,478	6,742	7,945	28,993	7,021	7,540	7,493	+751	+11.1%
公共	1,809	2,176	2,692	3,552	10,230	2,374	2,927	3,442	+750	+27.9%
個人	1,116	967	975	1,010	4,070	1,084	946	886	▲88	▲9.1%
売上原価	12,039	12,905	12,737	14,526	52,209	12,154	12,607	12,899	+161	+1.3%
売上総利益	2,954	3,416	3,571	4,030	13,974	3,405	3,538	3,625	+53	+1.5%
販売管理費	2,042	2,123	2,117	2,538	8,821	2,320	2,353	2,354	+236	+11.2%
営業利益	912	1,293	1,454	1,492	5,152	1,085	1,184	1,271	▲183	▲12.6%
営業外損益	▲34	18	▲20	17	▲19	▲15	▲32	▲4	+16	-
経常利益	877	1,311	1,433	1,510	5,133	1,070	1,152	1,266	▲166	▲11.6%
特別損益	19	▲21	▲1	503	499	7	23	3	+4	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	516	798	871	1,443	3,630	646	699	762	▲109	▲12.6%
EBITDA	1,274	1,676	1,861	1,889	6,702	1,494	1,599	1,685	▲176	▲9.5%
単体 受注残高	23,634	26,403	23,678	27,612	27,612	29,602	27,921	25,641	+1,962	+8.3%

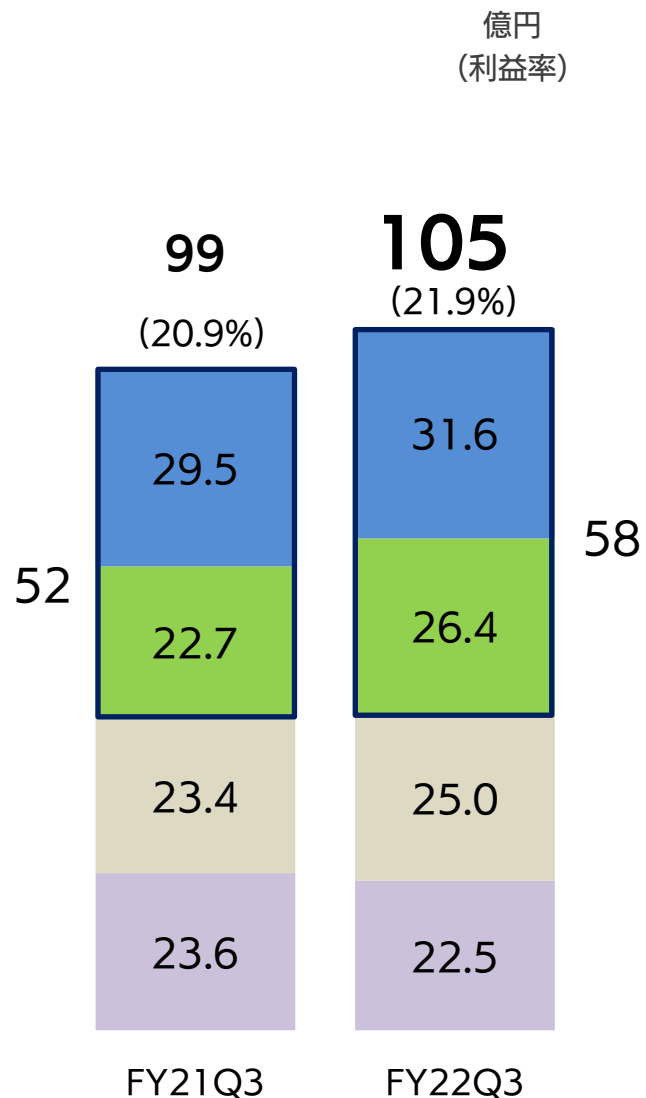
※EBITDA=営業利益+のれん償却費+減価償却費

※一部のプロジェクトに関してセグメント区分の見直しを行い、現在の計上方法に則して算出しております

## 売上高



## 売上総利益



### クラウドソリューション：増収・増益

- 農林水産省向けデジタル地図、共通申請の運用が順調
- エンタープライズ向けクラウド構築や移行支援も伸長

### セキュリティソリューション：増収・増益

- 次期自治体情報SC運用の9県分がFY22より開始
- エンタープライズ向けMSSが順調に進捗

### テクニカルソリューション：減収・増益

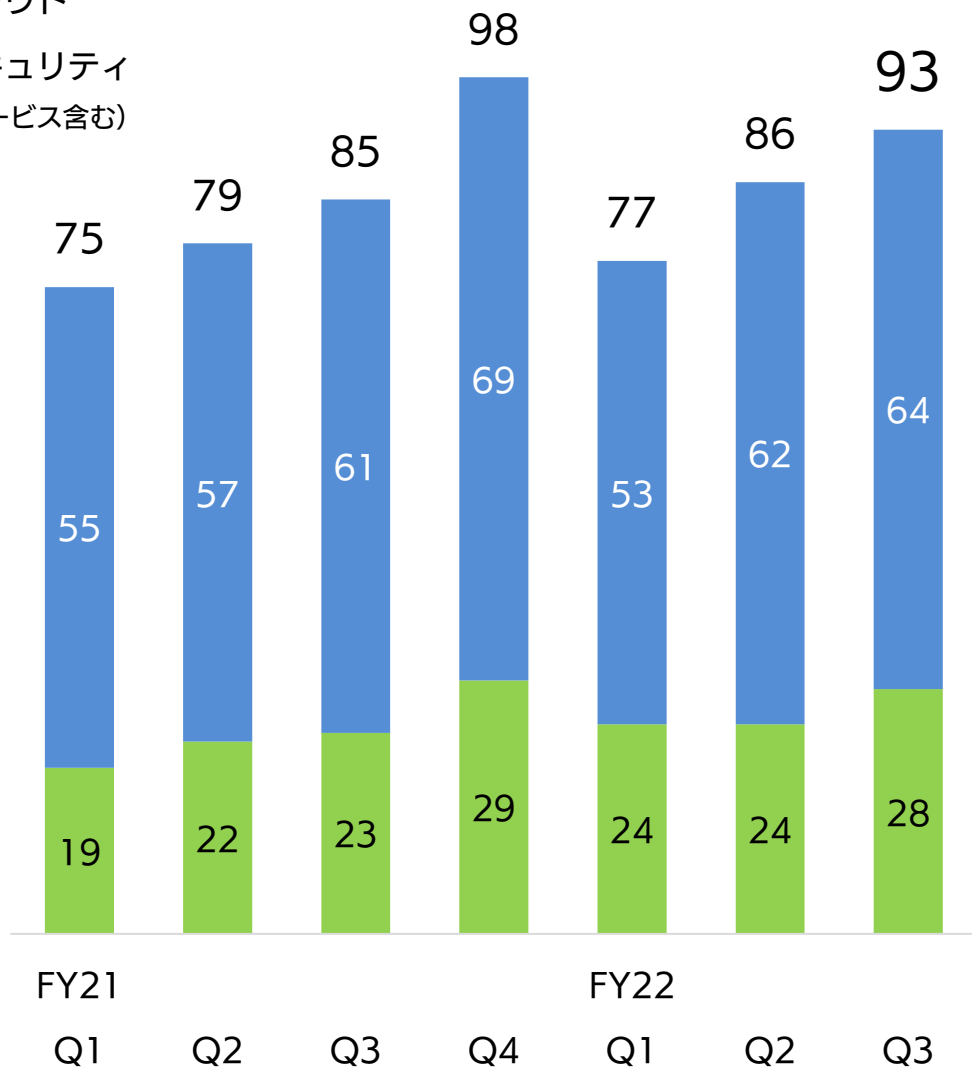
- ベンダーマネジメント案件から高付加価値な領域へのシフト推進中、効率化が進み利益率が改善

### 機器・ライセンス：増収・減益

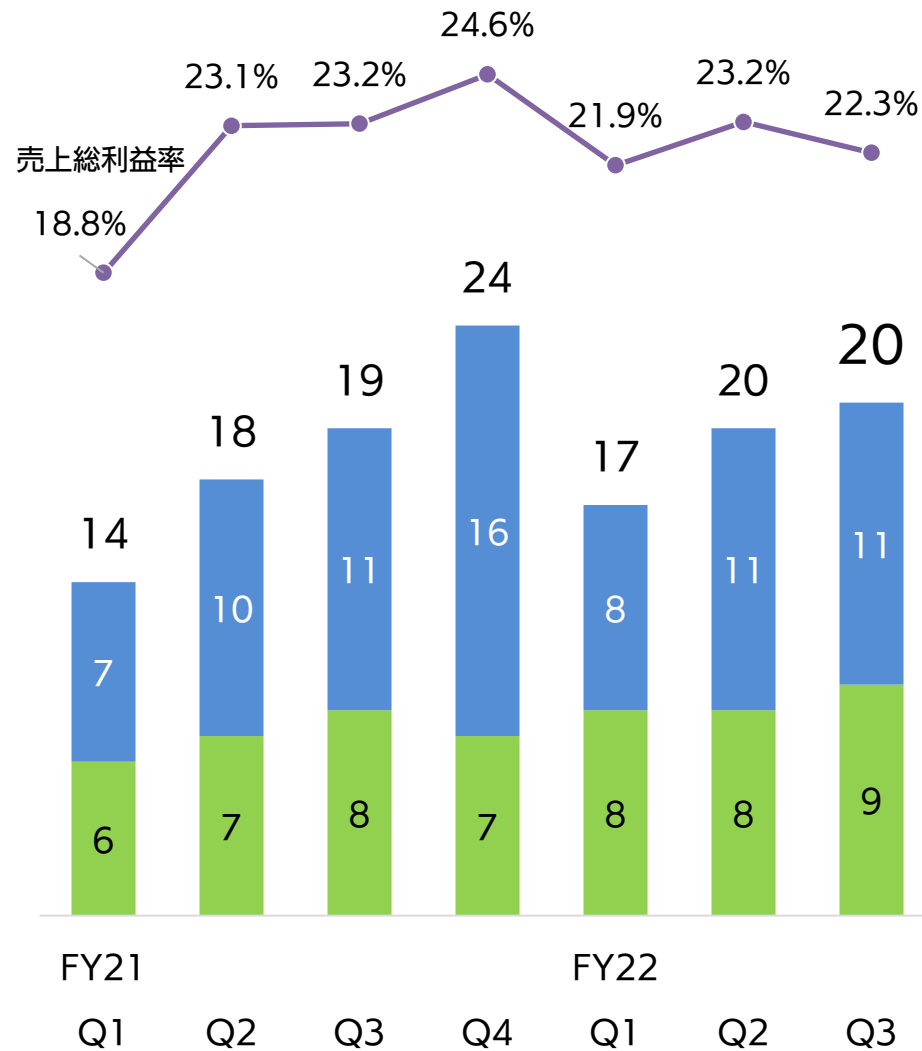
- 製造業向けライセンスが増加
- (株)ノートンライフロックとの契約変更により減益

## 売上高

■ クラウド  
■ セキュリティ  
(自社サービス含む)



## 売上総利益



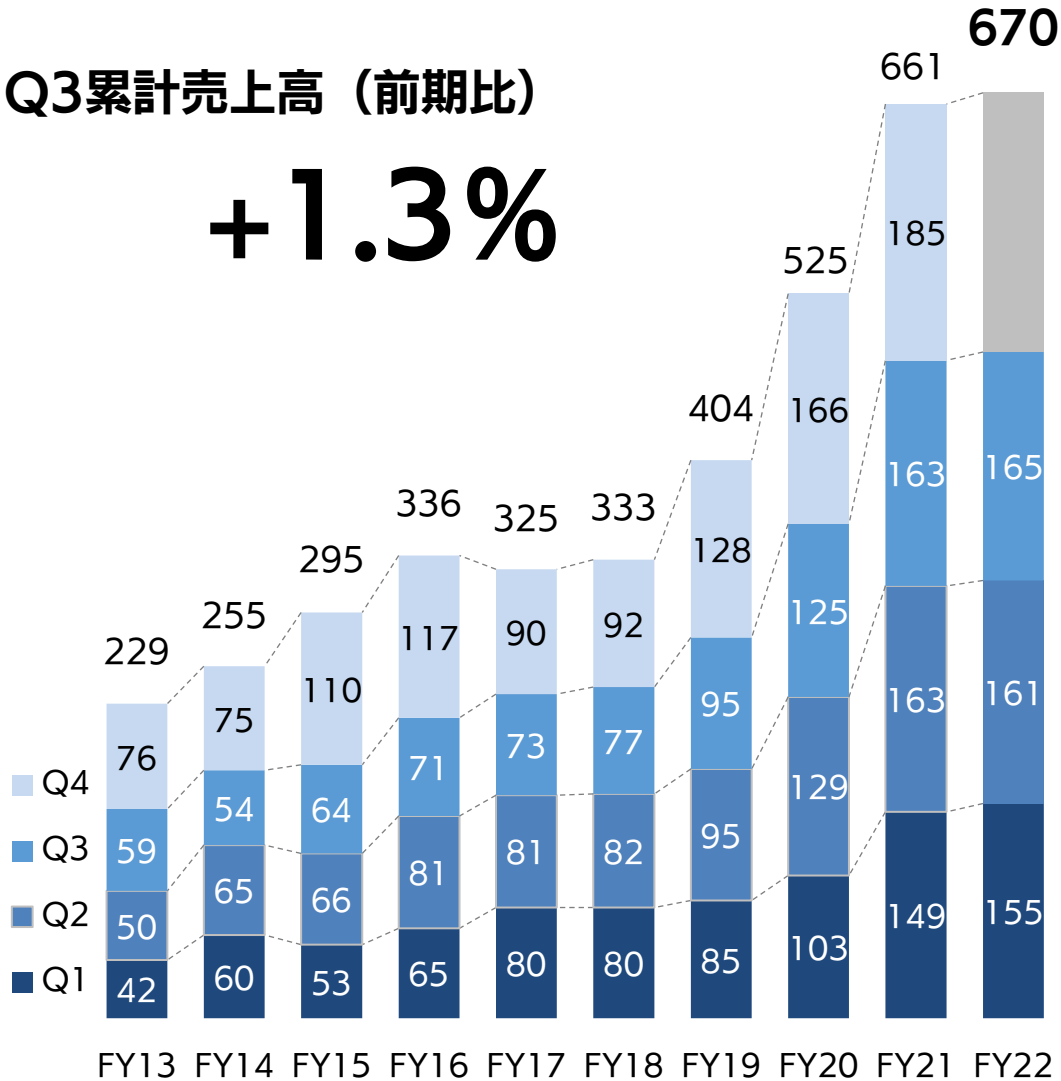
		(百万円)	FY21Q1	FY21Q2	FY21Q3	FY21Q4	FY21	FY22Q1	FY22Q2	FY22Q3	前年同期比	
											増減額	増減率
連結業績	売上高	14,994	16,322	16,309	18,557	66,183	15,560	16,145	16,524	+215	+1.3%	
	売上総利益	2,954	3,416	3,571	4,030	13,974	3,405	3,538	3,625	+53	+1.5%	
	利益率	19.7%	20.9%	21.9%	21.7%	21.1%	21.9%	21.9%	21.9%	+0.0pt	-	
クラウドソリューション	売上高	5,550	5,765	6,129	6,963	24,408	5,327	6,234	6,485	+356	+5.8%	
	売上総利益	727	1,071	1,156	1,660	4,616	857	1,173	1,134	▲22	▲1.9%	
	利益率	13.1%	18.6%	18.9%	23.9%	18.9%	16.1%	18.8%	17.5%	▲1.4pt	-	
セキュリティソリューション	売上高	1,979	2,234	2,392	2,907	9,514	2,467	2,457	2,843	+450	+18.8%	
	売上総利益	687	775	816	766	3,046	852	843	946	+130	+16.0%	
	利益率	34.7%	34.7%	34.1%	26.4%	32.0%	34.6%	34.3%	33.3%	▲0.8pt	-	
テクニカルソリューション	売上高	4,875	5,469	5,543	5,780	21,667	5,093	4,773	4,675	▲867	▲15.6%	
	売上総利益	676	828	837	897	3,239	822	830	854	+16	+2.0%	
	利益率	13.9%	15.1%	15.1%	15.5%	15.0%	16.1%	17.4%	18.3%	+3.2pt	-	
機器・ライセンス	売上高	2,589	2,853	2,244	2,905	10,592	2,671	2,680	2,520	+275	+12.3%	
	売上総利益	863	741	761	705	3,071	873	690	690	▲70	▲9.3%	
	利益率	33.3%	26.0%	33.9%	24.3%	29.0%	32.7%	25.8%	27.4%	▲6.5pt	-	
経営指標 <sup>※1</sup> 合計	売上高	7,530	7,999	8,521	9,870	33,922	7,795	8,692	9,328	+806	+9.5%	
	売上総利益	1,415	1,847	1,972	2,427	7,663	1,710	2,016	2,080	+107	+5.5%	
	利益率	18.8%	23.1%	23.2%	24.6%	22.6%	21.9%	23.2%	22.3%	▲0.9pt	-	

※1：クラウドソリューション+セキュリティソリューション(自社サービスを含む)

※一部のプロジェクトに関してセグメント区分の見直しを行い、現在の計上方法に則して算出しております。

## Q3累計売上高 (前期比)

# +1.3%

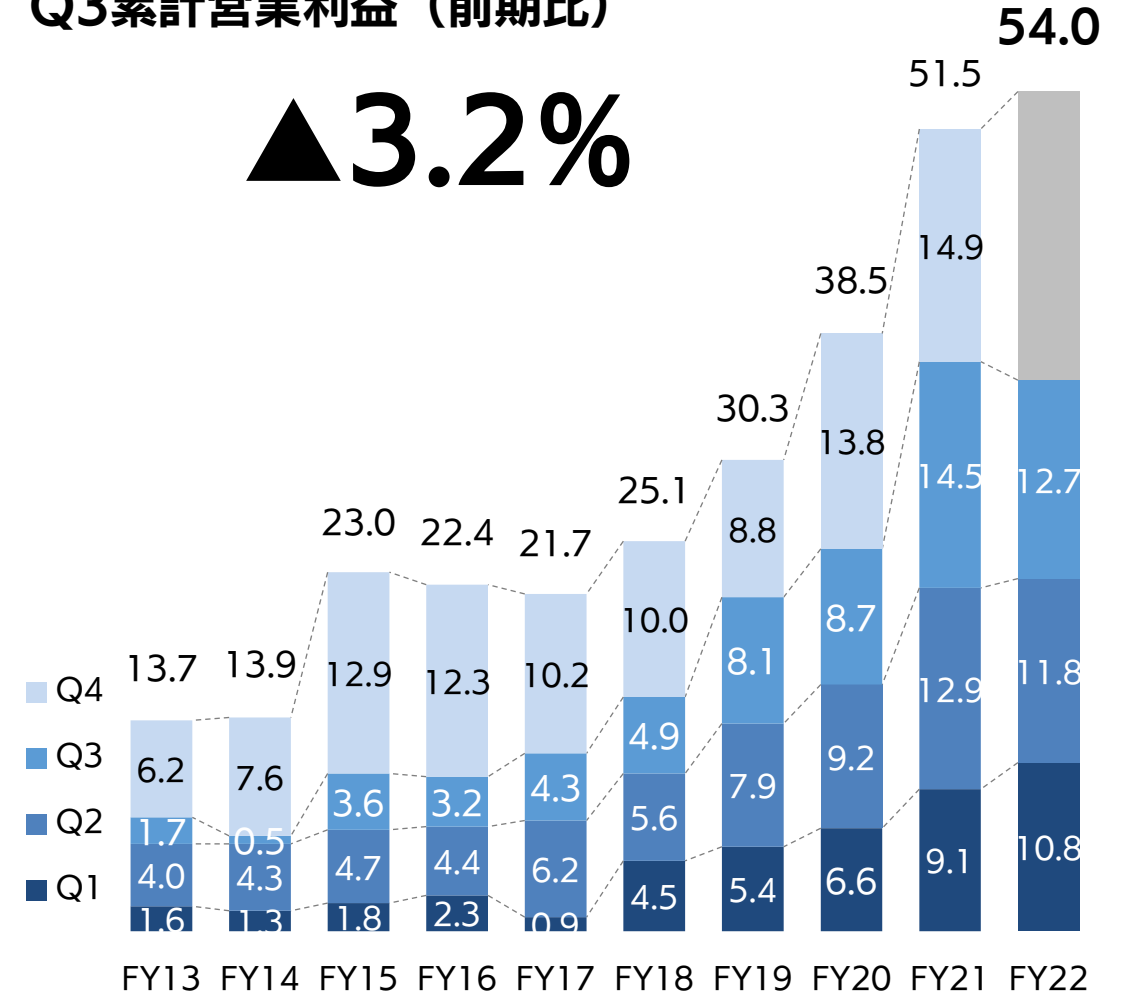


## 中計目標 営業利益80億円

(FY24連結営業利益)

## Q3累計営業利益 (前期比)

# ▲3.2%



〔億円〕

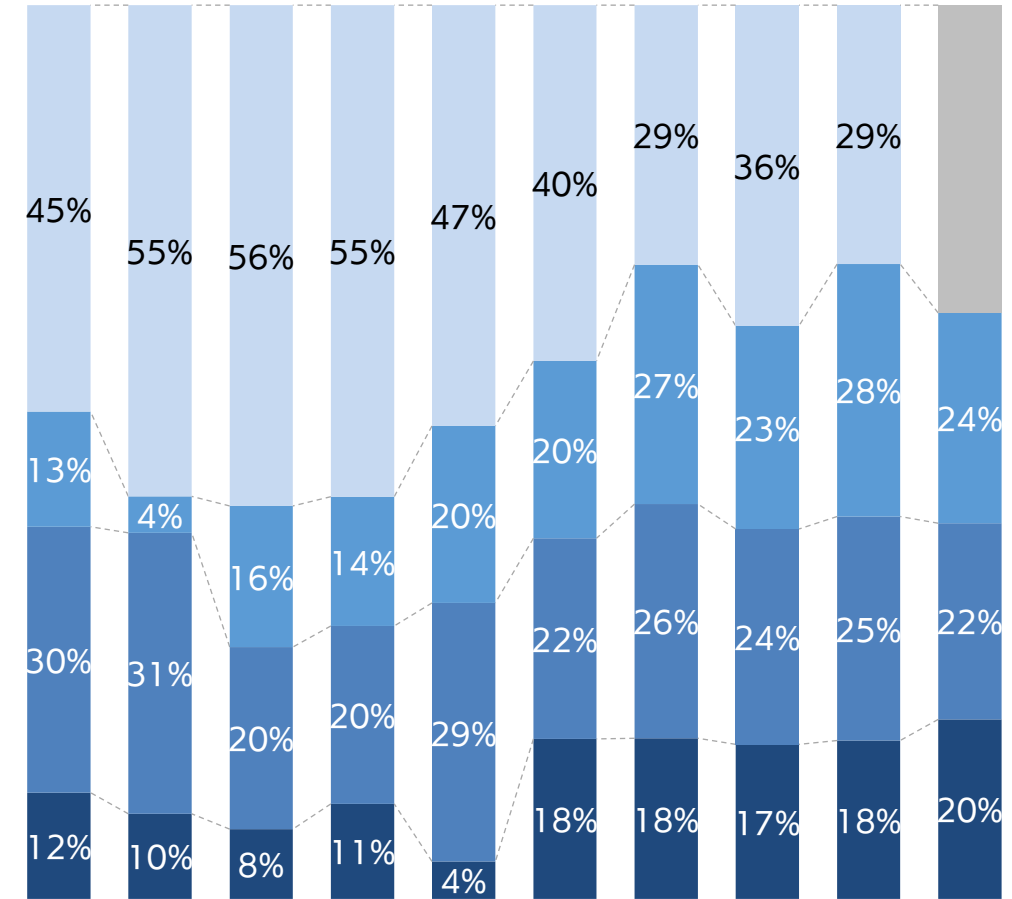
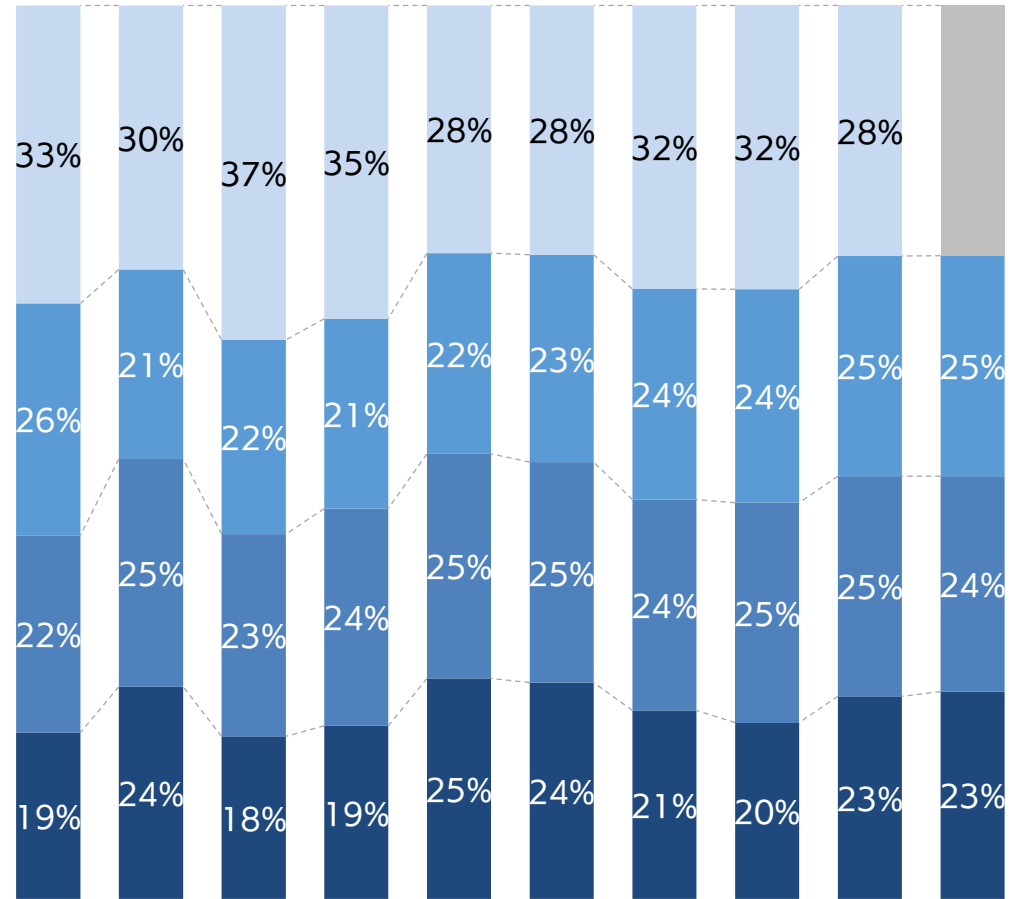
※FY21Q1より「収益認識に関する会計基準」を適用、FY20以前の売上高は主な影響であるノートンビジネスの売上を過去から純額表示にした参考値



## 売上高

## 営業利益

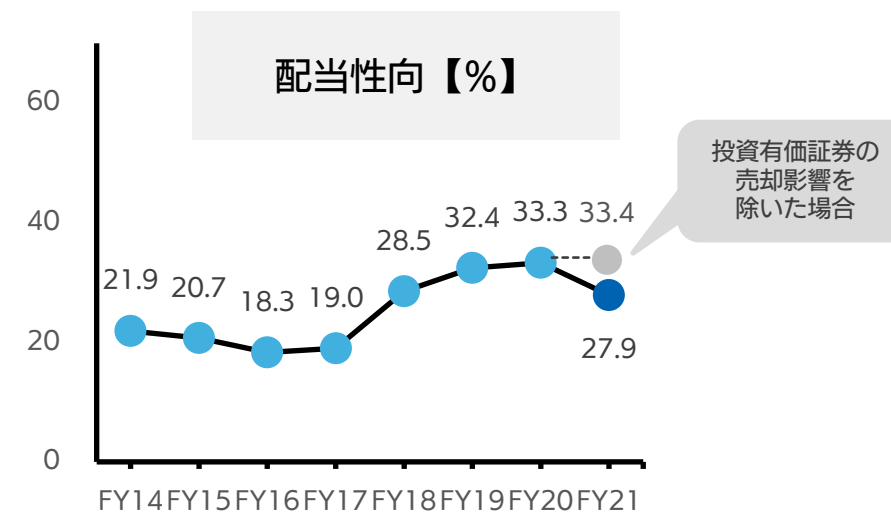
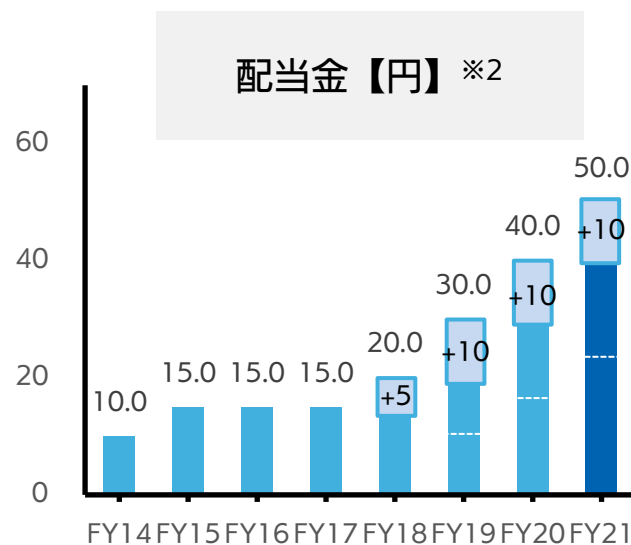
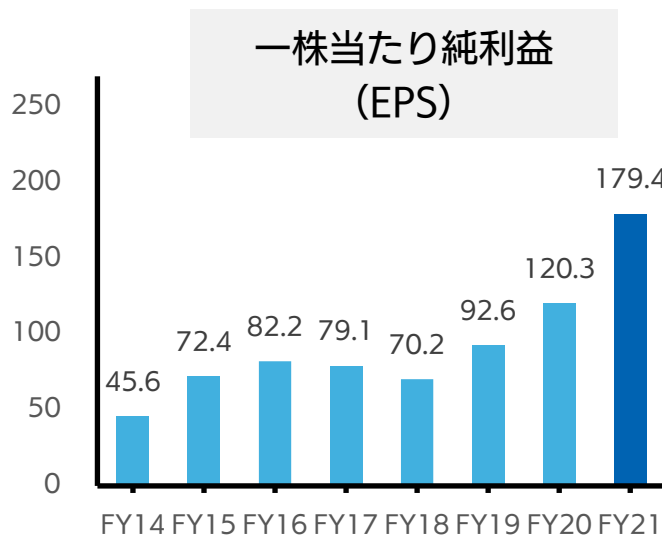
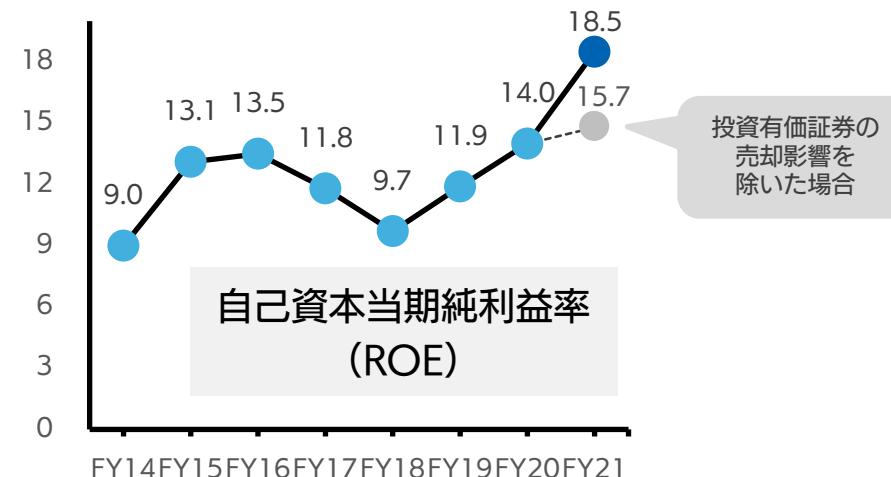
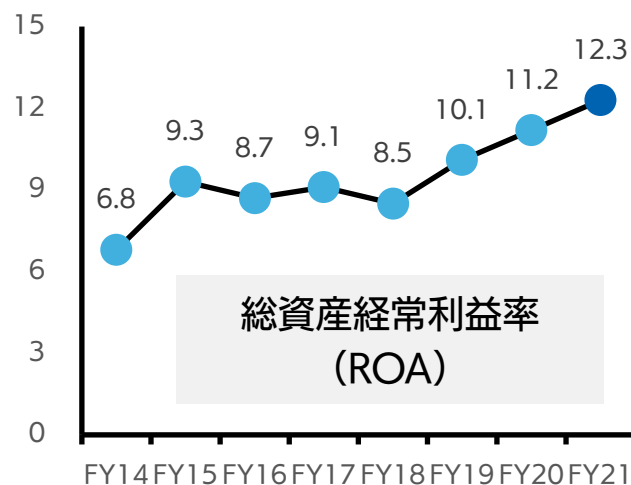
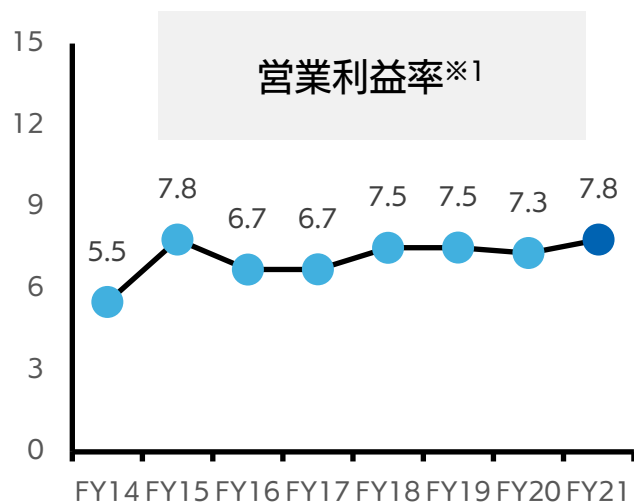
■ Q4 ■ Q3 ■ Q2 ■ Q1



FY13 FY14 FY15 FY16 FY17 FY18 FY19 FY20 FY21 FY22

FY13 FY14 FY15 FY16 FY17 FY18 FY19 FY20 FY21 FY22

(百万円)	2021/12末	2022/3末	2022/12末	前期末比	前年同期比
<b>流動資産</b>	29,817	34,326	31,623	△ 2,702	1,806
現預金	8,729	8,762	8,903	141	173
受取手形・売掛金	17,580	22,290	19,071	△ 3,218	1,491
<b>固定資産</b>	11,052	10,036	9,491	△ 544	△ 1,561
有形固定資産	2,048	1,661	1,969	307	△ 78
無形固定資産	4,700	4,486	4,305	△ 180	△ 394
投資その他の資産	4,303	3,888	3,216	△ 671	△ 1,087
<b>総資産</b>	40,872	44,365	41,116	△ 3,248	243
<b>流動負債</b>	15,852	18,896	15,851	△ 3,045	0
<b>固定負債</b>	2,112	2,088	1,617	△ 470	△ 494
<b>純資産</b>	22,908	23,379	23,647	267	739



※1：FY21Q1より「収益認識に関する会計基準」を適用、主要な影響であるノートンビジネスの売上を過去から純額表示にした際の営業利益率

※2：2017年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割、それ以前の配当額を調整

# 会 社 情 報

＝ SB Technology

## 会社概要

(2022年3月31日現在)

商号 SBテクノロジー株式会社(※)  
 所在地 東京都新宿区新宿六丁目27番30号  
 事業内容 ICTサービス事業  
 設立 1990年10月16日  
 資本金 1,254百万円  
 従業員数 連結 1,379名

(※)2019年10月1日付でソフトバンク・テクノロジー株式会社から  
 SBテクノロジー株式会社に商号変更しております

## 経営理念

### Mission 存在意義

情報革命で人々を幸せに  
 ～技術の力で、未来をつくる～

### Vision 目指す姿

多様な働き方と挑める環境で先進技術と創造性を磨き、  
 社会に新しい価値を提供し続ける

### Value 価値観・行動指針



## 役員

(2022年6月20日現在)

### 取締役

代表取締役社長 CEO 阿多 親市  
 取締役 CSO 佐藤 光浩  
 取締役 CFO 岡崎 正明  
 取締役 金子 公彦  
 社外取締役 鈴木 茂男  
 社外取締役 宗像 義恵  
 社外取締役 富永 由加里  
 社外取締役 宮川 由香  
 社外取締役 澤 円

### 監査役

常勤監査役 上野 光正  
 監査役 廣瀬 治彦  
 監査役 中野 通明  
 監査役 内藤 隆志

### 執行役員

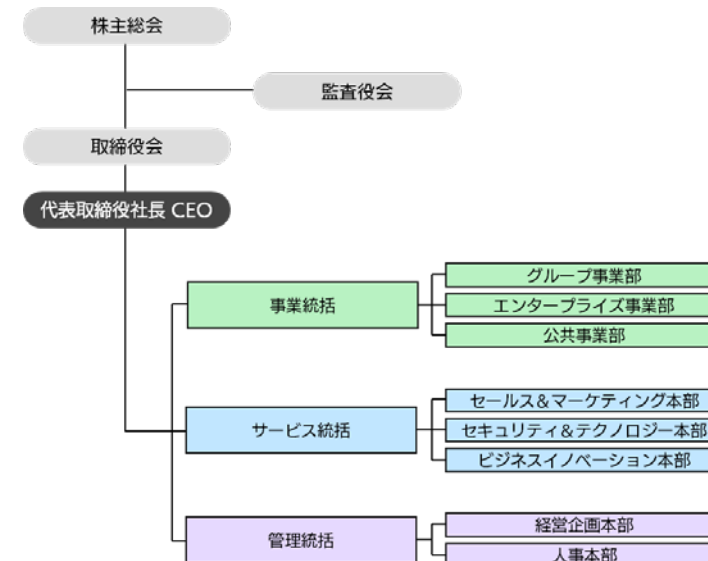
最高経営責任者執行役員 阿多 親市  
 副社長執行役員 CSO 佐藤 光浩  
 常務執行役員 CFO 岡崎 正明  
 常務執行役員 喜多村 晃  
 常務執行役員 CIO 渡辺 真生  
 上席執行役員 CCO 正岡 聖一  
 執行役員 児玉 崇  
 執行役員 青木 誠  
 執行役員 宮澤 拓哉  
 執行役員 CDO 金澤 謙悟  
 執行役員 CMO 上原 郁磨

役職名英文の正式名称は以下のとおりです

CEO Chief Executive Officer (最高経営責任者)  
 CSO Chief Strategy Officer (最高戦略責任者)  
 CFO Chief Financial Officer (最高財務責任者)  
 CIO Chief Information Officer (最高情報責任者)  
 CCO Chief Compliance Officer (最高コンプライアンス責任者)  
 CDO Chief DX Officer (最高DX責任者)  
 CMO Chief Marketing Officer (最高マーケティング責任者)

## 組織図

(2022年4月1日現在)



## 認証・認定

(2022年9月1日現在)



ソフトバンクグループ株式会社

親会社：ソフトバンク株式会社

持株数 **10,735,000株**      持株比率※ **52.99%**

2022年3月31日時点

## 主要な子会社 2022年4月1日時点

	<b>M-SOLUTIONS株式会社</b> クラウドサービス及びスマートデバイスを中心としたシステム の設計・開発及び保守・運用サービスの提供	代表者：植草 学 出資比率：100% 従業員数：54名
	<b>フォントワークス株式会社</b> デジタルフォント(書体)の企画・開発・販売及びソフトウェア の開発、テクニカルサービス、OEM等の提供	代表者：原田 愛 出資比率：100% 従業員数：53名
	<b>株式会社 環</b> クラウドサービスを活用した社内の業務改善・コミュニケー ション改革を実現する教育コンテンツの提供	代表者：青木 沙織 出資比率：100% 従業員数：8名
	<b>サイバートラスト株式会社</b> IoTサービス、OSS/Linuxサービス、認証・セキュリティサー ビスの提供	代表者：眞柄 泰利 出資比率：58.42% 従業員数：221名
	<b>リデン株式会社</b> 農業データの活用を促進し、農業成長サイクルの加速を支援 するプラットフォームの提供	代表者：上原 郁磨 出資比率：82.57% 従業員数：2名
	<b>株式会社電縁</b> 通信、自治体などを中心としたシステムコンサルティング、 Webシステム開発の提供	代表者：渡辺 真生 出資比率：100% 従業員数：79名
	<b>アイ・オーシステムインテグレーション株式会社</b> 情報処理システムの開発及び販売・保守等の提供	代表者：関口 雅之 出資比率：100% 従業員数：26名

## 大手企業、官公庁向け クラウド導入実績No.1

SBテクノロジー株式会社

ICTサービスビジネス

### 通信

- オンプレミス（プライベートクラウド含）のシステム構築/運用保守
- クラウドコンサルティング/移行支援/構築/運用
- セキュリティ運用監視サービス 等

### エンタープライズ

- クラウドコンサルティング/移行支援/構築/運用/IT教育サービス、AI・IoTソリューション
- セキュリティコンサルティング/導入支援/運用監視サービス、電子認証ソリューション 等

### 公共

- クラウド移行支援/構築/運用/IT教育サービス、AI・IoTソリューション
- セキュリティコンサルティング/導入支援/運用監視サービス 等

### 個人

- ノートンストア等のECサイト運営代行
- フォントライセンスのEC販売 等



## 国内トップクラスのクラウド導入実績と、マイクロソフトが認める技術力

クラウドサービスが普及し始めた2009年からクラウドビジネスを開始し、エンタープライズ企業を中心にMicrosoft 365の導入、Microsoft Azure環境での構築支援など、クラウドソリューションの導入と運用を行っています。このクラウドソリューションを基盤に、さらなるデータの利活用やDX人材の育成・創出などお客様の課題に寄り添った幅広いDX支援を行っています。

### 実績

クラウドソリューションの導入実績は1,000社以上に及び、豊富な開発実績とノウハウを蓄積。製造業や建設業などさまざまな業界に向けて支援を行っています。

建設業、製造業、教育機関など  
大手企業を中心に多数導入



### 外部評価

日本マイクロソフトがパートナー向けに行うアワードで9年連続受賞。2022年では自治体との脱炭素化への取り組みやセキュリティへの対応が評価され、2部門で受賞しました。

マイクロソフト ジャパン  
パートナー オブ ザ イヤー



2014年から9年連続受賞

Microsoft Worldwide  
Partner Award



日本初の4冠受賞

### サービス

clouXion (クラウジョン) は、Microsoft 365 を利活用するための当社のクラウドソリューションブランドです。「働き方改革」の具体的な課題解決のために生まれました。



clouXion 導入実績 **832社**  
2022年4月時点





## 情報セキュリティのトータルソリューションを提供

巧妙化・多様化するサイバー攻撃への対策として、セキュリティ導入支援から、セキュリティシステムの運用監視を行うマネージドセキュリティサービス (MSS)、経験豊富な専門家によるCSIRT※1構築支援、企業の包括的なセキュリティを支援するコンサルティングなど、お客様の重要な情報資産保護や事業継続をサポートする幅広いサービスをワンストップで提供しています。

### 実績

数百を超えるエンタープライズのお客様にMSSを提供しています。自治体向けには12県405市町村に対して、総務省が推進を行う「自治体情報セキュリティクラウド」の構築・運用、MSSの提供を行っています。



### 外部評価

ITRが調査を行う「Microsoft 365運用監視サービス」及び「SIEM運用分析サービス／マネージドXDRサービス」の2市場分野で2021年度ベンダー別売上金額シェア1位※2を獲得しました。



出典：ITR 「ITR Market View：エンドポイント・セキュリティ対策型／情報漏洩対策型SOCサービス市場2022」

### サービス

セキュリティ監視センターにて、専門のセキュリティアナリストが24時間365日体制でお客様環境のセキュリティシステムやネットワークを監視し、サイバー攻撃や不正アクセスから守るMSSを提供しています。



セキュリティ監視センター

※1 「Computer Security Incident Response Team」の略語で、マルウェア感染や侵入などのインシデントが発生したときに対応するチームを指す。40  
※2 出典：ITR 「ITR Market View：エンドポイント・セキュリティ対策型／情報漏洩対策型SOCサービス市場2022」



## 情報革命で人々を幸せに ～技術の力で、未来をつくる～

SBTグループは持続可能な社会の実現に向け、  
事業・企業活動を通じて、さまざまな社会課題の解決に取り組みます。

### 基本方針



ICTサービスの提供によるイノベーション創出で、  
お客様の価値創造に貢献します。



気候変動対応に向けて、温室効果ガス排出量の削減や  
エネルギー効率の向上、水などの資源利用の削減  
及び効率化、生物多様性への配慮などに取り組みます。



株主の期待に沿えるよう、成長への挑戦を忘れず、  
透明で公正な情報開示をします。



次世代育成、情報セキュリティの強化、  
災害対策・復興支援などを通じて、  
豊かな情報化社会の実現に貢献します。



従業員のやりがいと誇り、個性がいかされ、  
性別や年齢、国籍等にとらわれない、平等で多様性  
に富み、チャレンジできる環境を大切にします。





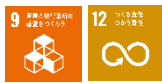



国際規範や各種法令・ルールを遵守し、  
誠実な事業活動を行います。



汚職や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗を防止し、  
取引先との公正な取引関係を築きます。



SBTグループにおける6つのマテリアリティの達成に向けて、KPI（取り組み指標）を設定しました。サステナビリティへの取り組みをより一層強化し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

マテリアリティ	取り組みテーマ	KPI	目標	目標年度
クラウドを活用した、地球環境への貢献 	テクノロジーによる気候変動への対応、環境負荷低減：お客様のエネルギー・資源効率を高め、CO2排出削減および環境負荷低減にクラウドサービスの利用拡大を促進し、寄与します。	クラウド・セキュリティ&サービス売上	第4次中期経営計画（FY22-24）で掲げた売上目標500億円	2024
先進技術による、アクセシビリティ促進とデータ利活用推進 	DXによる社会・産業の構築：進展するデジタル社会において先進的なデータ活用を促進し、お客様とともに新たな価値を生み出す共創型DXを推進します。	クラウド・セキュリティ&サービス売上	第4次中期経営計画（FY22-24）で掲げた売上目標500億円	2024
		イノベーションへの投資額	前年度対比120%	2024
継続的な高度セキュリティ技術の強化 	安全な社会基盤を支えるサイバーセキュリティ関連サービスの提供：社会に必要不可欠なデジタルインフラの利便性向上と、情報の安全性確保を支援し、安全で安心な情報社会の実現に貢献します。	クラウド・セキュリティ&サービス売上	第4次中期経営計画（FY22-24）で掲げた売上目標500億円	2024
		累計セキュリティ監視ID/センサー数	前年度対比130%	2024
国の礎である「食」の安全確保に対する、技術での貢献 	農業にかかわる行政手続きにおけるDX推進：国が掲げる「農業DX構想」に基づく官民連携の取り組みを進め、農業に関わる行政手続きなどのデジタル化を促進し、農業者と農業関係者の負担を軽減します。	農林水産省の行政手続き電子化件数	3,000	2025
	農業者と農業関係者の支援による持続可能な農業への貢献：生産者と消費者をつなぐデジタルプラットフォームの確立により、農業の生産力向上・実利貢献と持続性の両立を支え、将来にわたって食料の安定供給に寄与します。	農業プラットフォーム「agmiru」ユーザ数	150%（2021年比）	2024
多様なライフスタイルを通じた社会への貢献 	事業を通じた社会との共創と、豊かな生活づくりへの貢献：テクノロジーを活用した「多様なライフスタイルに対応した働き方のモデル」を実践し、社会に広く提案することで、より多くの人々が働きやすい、豊かな生活の実現に貢献します。	ライフワークバランスの推進	全社平均残業時間 25時間/月	2024
		フレックス制度とテレワーク制度等を併用した、効率的な勤務制度の推進	制度推進・運用	2024
		働きやすい職場環境の整備	男性育休取得率50%	2024
成長を牽引する人的資本の拡充と事業創出のための仕組構築 	多様な人材の育成と活躍促進：属性に依ることなく役割に応じて平等に登用する人事制度を導入し、社員が主体的にキャリアアップできるような研修や事業の変化に見合ったリスクリングの機会をつくることで、一人一人の更なる成長を支援します。	スキルアップ支援制度の充実	制度の推進・運用	2024
		ビジネスパートナーとの協業&教育スキームの構築	制度の導入・開始	2024

## 2022/12/02 【導入事例】竹中工務店グループの新オフィスビルにサイバーセキュリティ対策サービス「Smart Secure Service」を導入



竹中工務店グループの新オフィスビル「竹中セントラルビル サウス」において、オフィスビル向けのサイバーセキュリティ対策サービス「Smart Secure Service（スマートセキュアサービス）」の導入と、データ処理基盤の一部導入支援を行いました。IoT機器とつながる照明や空調など、様々な先端技術が導入されたスマートビルとして運営されており、本ビルシステムにおけるサイバーセキュリティ対策として採用されました。

## 2022/12/06 総務省が選定する「テレワーク先駆者百選」に認定



総務省が選定する「テレワーク先駆者百選」に認定されました。「テレワーク先駆者百選」は、総務省がテレワークの普及促進を目的として、テレワークの導入・活用を進め、実施率の向上や長時間労働防止などに努めている企業や団体などを認定する取り組みです。当社では「社員一人一人が豊かな人生を過ごすことができる」をテーマに働き方改革を推進しており、フレックス勤務制度、全社員リモート会議システムによるテレワークの実施、またITを駆使したワークスタイル変革による残業時間の削減を実現しています。



## 2022/12/21 サグリとの資本業務提携を締結

SB Technology



サグリ株式会社と資本業務提携を締結しました。サグリは、農業や環境における課題解決にむけた衛星データやAI技術・区画技術を活用したサービスを提供しており、農業分野における深い知見や技術力を有しています。当社は、農林水産省のデジタル化支援における長年の実績とノウハウがあり、今回両社の事業シナジーを発揮することで、農林水産省分野におけるDXを推し進め、より一層行政デジタル化の実現に貢献してまいります。

## 2022/12/22 「CrowdStrike Falcon」を対象としたマネージドセキュリティサービスの提供を開始



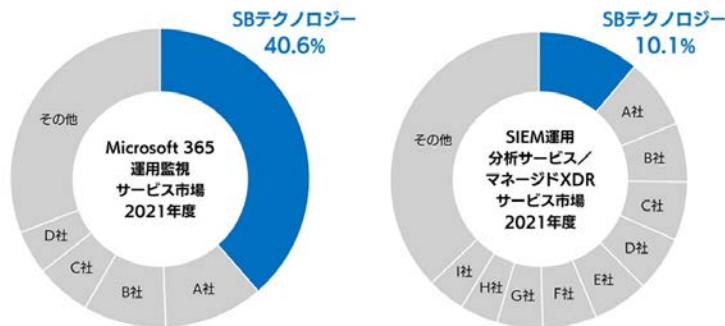
サイバー攻撃の検知や対処が可能な統合セキュリティプラットフォーム「CrowdStrike Falcon (クラウドストライク ファルコン)」をマネージドセキュリティサービス「MSS for EDR」の新たな監視対象として追加しました。「CrowdStrike Falcon」は、サイバーセキュリティ業界においてリーダーポジションを確立しエンドポイントセキュリティ市場で大きなシェアを持っています。セキュリティ監視センター (SBT-SOC) からお客様環境の「CrowdStrike Falcon」を24時間365日体制でセキュリティアナリストが運用監視します。

## 2023/01/24 「Microsoft 365運用監視サービス」 「SIEM運用分析サービス／マネージドXDRサービス」市場でシェア1位獲得

ITRが調査を行う国内のエンドポイント・セキュリティ対策型／情報漏洩対策型SOCサービス6分野の中で2冠を達成



出典：ITR 「ITR Market View：エンドポイント・セキュリティ対策型／情報漏洩対策型SOCサービス市場2022」



出典：ITR 「ITR Market View：エンドポイント・セキュリティ対策型／情報漏洩対策型SOCサービス市場2022」  
(左) Microsoft 365運用監視サービス市場：ベンダー別売上金額シェア（2021年度）を基にSBTが作成  
 (右) SIEM運用分析サービス／マネージドXDRサービス市場：ベンダー別売上金額シェア（2021年度）を基にSBTが作成

株式会社アイ・ティ・アール（以下 ITR）が2023年1月に発行した「ITR Market View：エンドポイント・セキュリティ対策型／情報漏洩対策型SOCサービス市場2022」の6分野のうち、Microsoft 365運用監視サービス及びSIEM運用分析サービス／マネージドXDRサービスの2分野において、2021年度ベンダー別売上金額シェア1位を獲得しました。

本レポートによると、1位を獲得した2021年度のMicrosoft 365運用監視サービス市場分野におけるSBTの国内シェアは40.6%で、業種別および従業員規模別の売上金額シェアにおいても全てのカテゴリーにおいて1位となりました。同じく1位を獲得したSIEM運用分析サービス／マネージドXDRサービス市場分野における国内シェアは10.1%で、さらに2022年度（予測）では前年度比145.6%と大きく成長が見込まれています。上記2分野においては、2022年度もSBTがシェア1位と予測されています。

その他の分野において、2021年度のID管理セキュリティ運用監視サービス市場分野における国内シェアは10.1%（3位）で、2022年度（予測）では前年度比194.7%と急成長が見込まれています。マネージドEDRサービス市場分野における国内シェアは4.8%（6位）で、10,000人以上の従業員規模別シェアにおいては3位を獲得しました。

# 数字で見るSBT

※(連結)の記載がない項目はSBT単体の指標となります。

## 働く人

SBT  
社員数 **1,379名**  
(連結) (2022年3月)

22年度新卒  
**59名**  
(連結)

平均年齢  
**38.2歳**  
(2022年3月)

## 働き方

生産性向上による残業削減  
**42時間** → **27時間**  
2015年度 2021年度

1人あたり有給消化率  
**63%**  
(2022年3月)

テレワーク実施率  
**75%**  
(本社オフィスFY21H2実績)

## 成長支援

能力開発休暇の活用 (2021年度)  
取得人数 **234人** 取得総日数 **538日**

PMP保有者 **123人** CBAP保有者 **49人**  
(2022年3月)

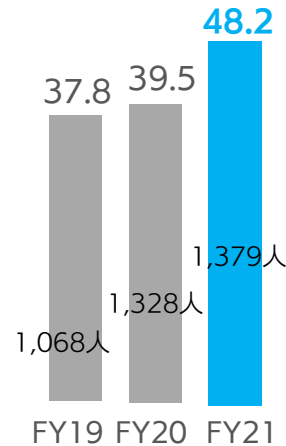
## 技術人員

職種比率  
**7 : 2 : 1**  
(技術) (営業) (管理)  
(2022年3月)

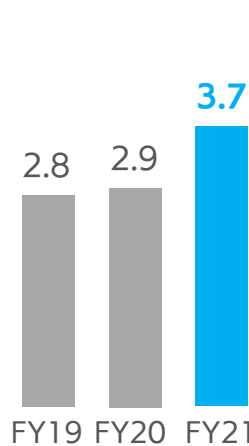
開発パートナー  
**約3,000人**  
(2022年3月)

## 社員1人あたり指標 (百万円)

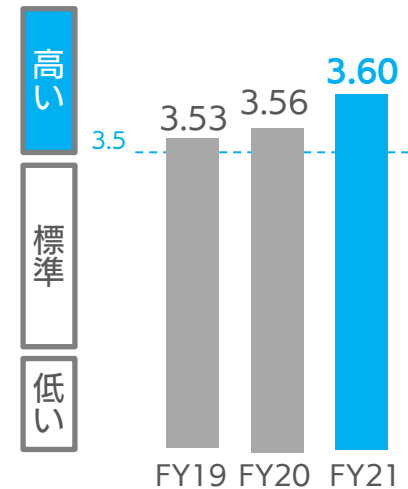
売上高\*1 (連結)



営業利益 (連結)



## 社員総合満足度 (5段階評価)



## PMP (Project Management Professional)

幅広い知識とプロジェクトマネージャーとしての実務経験が求められるプロジェクト管理の国際標準資格。SBT技術社員の22%が保有。

## CBAP (Certified Business Analysis Professional)

5年以上の経験豊富なビジネスアナリシス実務経験を認定する資格試験。

当社社員が働くうえで重視する指標の1位は「**やりがい**」。アンケートではやりがいに関する各指標が例年高水準

※1 FY21Q1より「収益認識に関する会計基準」を適用、FY20以前の売上高は主な影響であるノートンビジネスの売上を過去から純額表示にした参考値

# 資料留意事項

---

1. 本資料に記載した各種グラフ内に表示している数値については、その端数処理の関係から、各種グラフ内の数値と決算短信に記載した数値に乖離が出ている場合があります。
2. 前連結会計年度より「新収益認識に関する会計基準」を適用しており、2021年3月期以前の売上高については主な影響であるノートンビジネスを過去から純額表示にした未監査の参考値を記載しております。

# 免責事項

---

本資料に記載されている計画、見通し、及びその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、様々なリスク及び不確実性が内在しています。実際の業績等は経営環境の変化等、様々な要因により、これら見通しと大きく異なる可能性があります。

また、本資料は当社グループの業績や事業進捗等に関する情報提供を目的としており、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

本資料に掲載されている会社名、ロゴ、サービス名等は、当社、当社グループ会社、または該当する各社の商標または登録商標です。



**情報革命で人々を幸せに**

**～ 技術の力で、未来をつくる ～**

**＝ SB Technology**